

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第 51 号 発行：諏訪清陵高校同窓会 発行人：同窓会長 今井竜五 編集担当：第 92 回生（昭和 61 年入学）
同窓会事務局：〒 392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL：0266-58-0356

今年は清陵創立130周年

特集

“清陵”という

心の熾^{おきび}火

2025 年 (令和 7 年) 度 定期総会のご案内

ハイブリッド開催

期日：6月21日(土)

①、②いずれかの方法でお申込みください

会場：

申込：①「QRコード」から申込み

②支部幹事、学年幹事へ申込み

[対面] ホテル紅や 諏訪市湖岸通り 2-7-21

※ 12:00 ~ 14:00 展望風呂を無料で利用可

懇親会費は当日お支払いください

対面・オンラインとも
こちらからお申込みく
ださい ⇒



〈申込締切〉
6月6日(金)

懇親会へ出席される方は幹事から
「懇親会前売り券」をご購入ください

※ 議事、企画のみの参加は無料です
※ 当日参加も可能ですが、準備の都合上、
出来るだけ事前申込みをお願いします
※ 上記同窓会本部事務局からもご購入で
きます

[オンライン]

Zoom (議事・92 回生企画)

ミーティング ID: 927 6793 7399

パスコード: 621

(待機室に入室後、お名前を [△△回
○○○○] と変更してご参加ください)

当日 Zoom 入室
はこちらから↓



● 議事 13:30 ~ 参加無料

- ① 令和 6 年度会務・会計・監査報告
- ② 令和 7 年度事業計画・予算案審議
- ③ 清陵高校 130 周年記念事業について など

● 92 回生企画 14:15 ~ 参加無料

パネルディスカッション テーマ「“清陵”という心の熾^{おきび}火」

● 懇親会 [対面のみ] 15:30 ~ 17:30 (予定)

参加費 10,000 円 [108 回生以降 (39 才以下) 5,000 円]
乾杯・飲談・校歌

■ お問い合わせ先：2025seiry@gmail.com

幹事 92 回生 / 次年度幹事 93 回生 / サブ幹事 102 回生・112 回生

写真：「Firestorm 2018」百瀬 登 (92 回生)



さらなる歴史を つむ 紡ぐとき

同窓会長 今井竜五（74 回生）

同窓生の皆様、こんにちは。私は昨年6月の定期総会で同窓会長に選任されました。まず自己紹介をさせていただきます。私は昭和27年生まれの74回生、地方会は親友会（岡谷北部中学）です。部活は端艇部に所属し、高校時代の多くの時間を諏訪湖の上で過ごしました。旧艇庫の屋根裏部屋で合宿を行い、食事は薪による自炊、部顧問の牛山正雄先生のご自宅でも頂きました。皆で楽しく食べ練習方法、勉強、将来のことなど多くのことを語り合いました。懐かしく大切な思い出です。

大学進学により上京、社会人生活を含めて14年間を東京で過ごした後、帰郷し会社の創業・経営、市議会議員などを経験しました。そして多くの方のご支援をいただき、2007（平成19）年9月から一昨年2023（令和5）年9月までの4期16年間、岡谷市長を務めさせていただきました。この間、地元諏訪地区はもとより各地域の同窓生の皆様には大変にお世話になり深く感謝をしています。また市長の活動を通じて、同窓生の皆様が国内外の多くの地域において様々な分野で活躍、社会貢献をされている姿に接して大変に誇らしく感動をいたしました。

この度は、経験豊かな中村博前会長の後任として、急遽、私の会長就任となりましたので同窓生の皆様のご指導やご

支持、ご協力をいただき、同窓会の大きな目的であります大切な母校の充実発展や生徒の皆さんが有意義で実り多い学校生活を送るための支援、同窓会の充実発展や同窓生同士の連帯感の醸成と連携の強化などを実現して参りたいと考えています。よろしくお願いいたします。

母校清陵は昨年が附属中学創立10周年、今年が高校創立130周年の大きな節目の時を迎えています。そのため同窓会では、昨年7月に学校、PTAと一体の実行委員会を立ち上げ、周年事業に取り組んでいます。現在は変化が大きく速い、また情報化技術の著しい進歩の時代です。これを踏まえて周年事業の基本コンセプトを清陵の学校教育と同窓会の活動や事業・歴史、名簿など膨大な資料や情報の有効活用のための「DX化・データベース化」とし、今回の周年事業では130周年史、同窓会名簿、事務局機能強化を手掛けます。また記念式典、同窓会館の改修、学校教育環境の整備充実など計画をしています。この周年事業を同窓生の皆様の絶大なご支援、ご協力をいただき着実に進めて参ります。是非、深いご理解をお願いします。

会長就任以来、全国12支部の総会に出席をしています。各支部で同窓生の講演などが行われ、母校が育んだ人材の豊かさや凄さを再認識しています。現在、高校授業料完全無償化という公立高校の存続に大きく影響を及ぼす動きが加速しています。母校諏訪清陵高校も生き残り輝くためには特色や強みを持ち、それに更なる磨きをかけることが求められます。豊富な人材と歴史を持つ同窓会です。同窓生の皆様には、母校のために力強い応援を心からお願い申し上げます。

創立一二〇周年記念出版

諏訪清陵高校 第一校歌の作詞者 新訂版 寒水伊藤長七伝



矢崎秀彦【著】

感動の力作 矢崎秀彦氏の
執念と精査に驚く（粕谷一希）

信州が生み世界を見つめた
自由主義教育の巨人

第一部 東京高等師範学校附属中学校教諭時代まで
一千万人と雖も吾行かん—
新任地諏訪での諸活動／小諸の一年／東京高等師範学校学生時代／東京高等師範学校附属中学校教諭時代 他

第二部 東京府立第五中学校時代
—立志・開拓・創作—
新設東京府立第五中学校校長に抜擢される／米欧教育視察出張／大正十二年から昭和五年／追慕、顕彰の諸行事 他

【著者】矢崎秀彦（やさき ひでこ）1916年諏訪生れ。1934年旧制長野県諏訪中学校卒。1937年東京商科大学附属商学専門部（現一橋大学）卒。1945年都内及び長野県内の高校教員を歴任。著書に『提山見全大和尚伝』『大隅流の建築 柴宮長左衛門伝』など。共著に『普門寺赤津川災害史』『四賀村誌』。歌人でもあった。

「寒水伊藤長七伝」
同窓会特別価格
3500円（税込）

ご注文はこちら→
<https://x.gd/8nLh4>
A5判 490頁



諏訪清陵高校 第二校歌の作詞者 新装版 ああ博浪の槌とりて

人間中島喜久平と
諏訪の育英

五味幸男【著】

刊行委員会代表 竹内丈夫

中島喜久平の人間像を描き出す

ぼくらのような後輩には、中島は諏訪中学の校風確立に貢献した偉大な先人であり、文武両道の達人として東都の学生界で活躍した英才と伝えられ…伝説的な英雄であり神秘化された趣さもある。（跋より）

第一章 校歌「ああ博浪」と作詞の背景
第二章 「幻の人」中島の人間研究
第三章 中島以前明治青年の向学心と育英
第四章 中島以後諏中生徒の進学熱と私説育英制度
付 中島の遺稿その他資料
跋—本書刊行の意義—刊行委員会 宮坂広作（東大名誉教授）

【著者】五味幸男（ごみ ゆきお）1925年諏訪生れ。旧制長野県諏訪中学校卒。長野県立高校教員として勤務。著書に『五・一五事件の謎 濱大尉の思想と行動』など多数。【刊行委員会代表】竹内丈夫（たけうち たけお）1901年茅野市豊平生れ。21回生。千葉医大卒。竹内医院を開業し内科・小児科の診察にあたったほか長年院長及び民生委員をつとめる。

「ああ博浪の槌とりて」
同窓会特別価格
2650円（税込）

ご注文はこちら→
<https://x.gd/wwwyz>
A5判 296頁



2冊セットはさらにお得！
同窓会特別価格5800円（税込）
↑セットに注文 <https://x.gd/Cmu3N>



文藝・学術出版
鳥影社

鳥の影のように一瞬で過ぎゆくものに、永遠の輝きを与える

〒392-0012 長野県諏訪市四賀 229-1 TEL: 0266-53-2903
<https://www.choeisha.com> FAX: 0120-586-771

ご出版のご相談も受け付けております
詳しくは弊社の出版サポートページをご覧ください
<https://www.choeisha.com/pub/>



退任にあたって

前校長 山岸 明

今井同窓会長様はじめ同窓会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のために物心両面の多大なご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。令和 5 年度から 2 年間、諏訪清陵高等学校の第 36 代校長として、また、諏訪清陵高等学校附属中学校の校長として微力ながらも精一杯勤めさせていただきました。この間、同窓会の皆様の母校に対する熱い思いをしみじみと感じました。また、幾度となく助けられ、勇気をいただいたかはかりしれません。

私は、令和 6 年度末の人事異動により、伊那北高等学校への転勤を命ぜられました。諏訪清陵高校での素晴らしい日々や、お世話になった附属中 10 周年記念行事、同窓会長様とおじゃました支部総会でのおもてなしなど、同窓会の皆様から受けたご厚情を思いますと後ろ髪を引かれる思いでございます。後任として就任する同窓生の倉澤克弥先生（89 回生）に全てを託してまいりたいと思います。これまでの同窓会の皆様方からのご指導、ご鞭撻に改めて心より御礼申し上げます次第であります。

さて、令和 6 年度を振り返りますと、新学習指導要領最初の卒業生となった 128 回生は、総合型選抜、新たに加わった「情報Ⅰ」を含む共通テストなど、大学入試を無事に終えて卒業しました。また、東大 2 名、医学部医学科のべ 7 名など確かな進路実現を継続してくれました。こうした成果は附属中生の企業訪問あるいは、キャリア講演会への講師派遣など同窓会の献身的なご協力によって撒かれた種が芽吹き大きく成長したからこそ成果です。

令和 7 年 3 月 23 日には、県代表として出場した「科学の甲子園」で総合 2 位となりました。理科、数学、情報の筆記と実技の総合点で争う、錚々たる高校が参加する全国大会で、県内高校初の快挙です。また、2 年野明さんは「国スポ」のスピードスケート 2 種目において優勝、「高校生クイズ」では、クイズ研究部が最終決勝 4 校に残り、最後は灘高校に敗れて散りました。化学部は日本代表として中国青少年科学技術イノベーションコンテストに出場しました。枚挙にいとまがない生徒の活躍ですがスポーツ、文化、学問など幅広い分野の活躍は県内でも突出し、これぞ「自反の清陵」とも言える成果だったのではないのでしょうか。

さて、混沌として一寸先も見通せない世界情勢の中で押し寄せる少子化の波は、いくら清陵といえども安穩とはしてられなくなりました。「授業料無償化」「県立高校の特色化」などが叫ばれ、特色化が遅れる高校は選ばれないのではないか、という危機感が増大しています。願わくば、同窓会など地域のご協力を得て、清陵ならではの特色である「SSH」「附属中」を磨き上げることで、清陵の魅力をさらに輝かせてほしいと願います。

本校は今年度 130 周年を迎えました。同窓会、PTA と学校の三者が協力して 10 月 18 日に記念式典を実施しますので、周年を契機に同窓生の皆様の益々のご支援をお願いします。そして、130 周年を迎える「清陵」に、これからも、どうぞ、ご期待ください。

旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校の同窓生の皆様のいやさかと同窓会の益々の発展を祈念申し上げ、お礼かたがた挨拶いたします。



理想の花の咲かむまで

校長 倉澤 克弥

同窓会の皆様におかれましては、日頃から本校の子どもたちのために物心両面からの多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本校では、4 月 4 日に高校 241 名、附属中学校 80 名の新生を迎え、また新しい清陵の 1 年を積み上げられる喜びを胸に、一步踏み出したところです。

さて、時代の変化、社会の変化に伴い、今、日本の学校教育は大きく変わろうとしています。従前の教育の中では、一方的に与えられた知識や技能を用いて、課題をいかに早く、いかに正確に解決するかというスキルやノウハウを身につけることが目標とされてきました。しかし、東日本大震災、新型コロナウイルス感染症拡大、年々深刻化する地球温暖化、AI の急速な発展等々の経験を経て、例えば予測が困難で、変化が激しく複雑化している状況であっても、その時代を逞しく切りひらいていく、骨太な人間を育成していくため、これからの学びの中核には「探究」を据えることとしました。生徒自らが課題を設定し、その解決に向けて、自ら情報を集め、整理し、分析し、仲間たちとの意見交換を通じながら課題解決を図る。自分たちで見つけたその答えは、次の課題解決のための情報の 1 つとなる。この連続的な学びのプロセス（探究）の素晴らしいところは、①期限を設けての成果は決して期待しないこと。②学びを進める上で何度失敗しても、挫折しても構わないこと。③その挫折・失敗からどのように立ち上がり、仲間と共に次の解決法をどのように見つけだすのかを思案し楽しむこと。にあります。

芙蓉峰頭一点の理想の花の開花をめざし、本校の子どもたちが、時には転がり落ちながらも、学びの高みに挑み続けるその営みに是非ご期待くださいますようお願いいたします。

最後に、私事ですが、この度 39 年ぶりに母校へ戻ることになりました。理科の教員としては自身の勝手な期待こそあれ、母校からは全くお呼びのかからなかったのですが、全県の高校生の探究イベントの折には、研究発表やポスター発表をしている後輩たちとの意見交換や会話を楽しみながら、その頼もしさに驚きを感じていました。そんな子どもたちと同じ時間を過ごすことができることをとても幸せに思います。今後とも、ご指導をよろしく願いいたします。

内科・小児科・胃腸科
在宅医療・訪問診療・往診



医療法人 松本医院

院長 松本 宙明 (88 回生)

休診日：毎月第 2・第 4 木曜日、日曜日、祝日、年末年始

〒392-0007 長野県諏訪市清水 2-4-12 TEL.0266-52-3247



130周年記念事業

本年、母校は創立130周年を迎えました。昨年7月に、学校・PTA・同窓会により、周年記念事業実行委員会を設置し、主に下記の事業に取り組んでおります。

1. 記念式典の挙行（本年10/18土 P16参照）
2. 祝賀事業としての懇親会開催
3. 学校・教育環境整備及び部室棟（同窓会館）改修
・トイレ・屋根・外壁の修繕
4. 学校教育及び同窓会活動のDX化推進
 - A) 記念史の整備
 - B) 同窓会オンライン名簿の整備（P15参照）
 - C) 同窓会事務局の環境及び体制整備強化
5. その他記念事業達成のための事業実施

記念事業寄付のお願い

目標金額 2,500 万円

1. 個人からの寄付【所得税の寄付金控除はできません】

学校の要望に融通の利く、教育環境整備に活用する積立金。振込方法は次の通り。

- ① 八十二銀行 諏訪支店 普通 1124815
- ② 諏訪信用金庫 上諏訪支店 普通 1128944
・口座名義はいずれも「旧制諏訪中学校・清陵高等学校創立130周年及び附属中学校創立10周年記念事業実行委員会 実行委員長 今井竜五」
・送金者名の前に何回生かを記入ください。
例：92回生の場合「92 セイリョウ タロウ」
・金額は任意です。

③ 郵便局

本会報に同封の「諏訪清陵高校創立130周年記念事業寄付金納入のお願い」払込取扱票をご利用ください（それ以外は使用不可です）。会員番号は封筒のラベルに記載されております。一口1万円、何口でも結構です。

※振込手数料はご負担下さい。

※令和7年5月15日～令和8年12月31日（目標金額を超えた場合でも期間中は継続）

2. 企業からの寄付：寄付控除の対象

指定寄付金（長野県の所有になる物への寄付）は、120周年時同様に企業へ依頼。

記念事業終了後、同窓会報にてご寄付頂いた方のご芳名を掲載させていただきます。掲載を望まない方は事務局にご連絡をお願い致します。




美しい未来環境を創る

スワテック建設株式会社

〒392-0017 長野県諏訪市城南二丁目2353番地
Tel. 0266-52-4343 Fax. 0266-52-4347




松本・岡谷・諏訪・長野・佐久・伊那
諏訪市中洲5723-3 Tel.0266-54-3555

代表取締役社長 太田 博久 (86回生)










令和 7 年度定期総会
92 回生企画

パネルディスカッション

特 集



清水 雅仁 (92 回生)

永明中卒。サッカー部。岐阜大学医学部卒。大学時代はラグビーにはまる。大学院卒後、米国 Columbia University Medical Center へ研究留学。2015 年～岐阜大学大学院消化器内科学教授。現：同大附属病院副院長。日本消化器病学会理事。趣味：旅行、ミュージカル鑑賞。同窓会報 51 号へ寄稿



高木 政志 (102 回生)

辰野中卒。音楽部。後期学友会長、学年幹事。静岡大学教育学部卒後、横浜市立大学大学院都市社会文化研究科卒。環境教育を志しベトナムでストリートチルドレンを守る活動、中国クブチ砂漠での植林活動、ブータンへの訪問、NPO での経験をもとに環境教育、平和教育を行う。現：箕輪中部小教諭。趣味：音楽、農・林・漁業



つうざき 通崎 千穂 (112 回生)

岡谷東部中卒。演劇部。東京学芸大中等教育教員養成課程（英語）卒。声優を志し、大学と専門学校を W で通うが、舞台の裏方に転向。現：合同会社 SrotaStage 代表社員。FM 西東京「痛快 ☆乙女ゲーム通信」企画・パーソナリティ。趣味：乙女ゲーム・観劇。特技：副業でライター <https://srotastage.jp/about/>



とわ 松浦 音湧 (129 回生 清陵高 3 年生)

下諏訪町出身、諏訪清陵中卒。現役前期学友会長。幼少期から地域の合唱団に所属し、複数回オペラにも参加している。すわ未来創造子ども夢プロジェクトに 1、2 期サポーターとして参加。昨年度に中学生の主体的な進路選択のために諏訪地域の中学生に向けた進路座談会を開催。所属する英語部のディベート大会にて全国 2 位。

モデレーター

竹内 良之 (92 回生)

永明中卒。卓球部。千葉大学教育学部卒。前岡谷市長今井竜五氏のもとで、岡谷小と田中小統合に貢献。現：岡谷田中小校長。令和 6 年東京清陵会ミドル交流会にて「ふるさとの力」の題で、今回のテーマ“心に熾火を灯す”を熱弁（スライドは QR コード参照）。趣味：スキー、読書。



清陵
という
心の
熾火
おきび



継承と挑戦～清陵生としての矜持を持って～

岐阜大学大学院医学系研究科内科学講座
消化器内科学分野 教授

清水 雅仁 (92回)

永明中卒。岐阜大学医学部附属病院副院長
趣味：旅行、ミュージカル鑑賞



清陵で過ごした3年間は私にとって大きな財産であり、現在の自分を形成する基盤・根幹となっています。清陵に入学して一番感じたことは、同級生や先輩、後輩が発する熱い「power・energy・passion」でした。伝統を継承しつつも新しいことに挑戦する姿や、夢や目標を具現化するために努力する姿に大きな刺激を受けました。明確な（でもスケールの大きい）目標を設定し、それを実現するためのstrategyを立案し、motivationを持って継続的に努力・学習する仲間達に出会えたことは幸せでした。特にサッカー部の仲間や同級生達と（とても誌面には載せられないバカをやりながら）夢を語りあったことを、今でも思い出します（まさに熾火です）。行動・思考も含めカッコ良い友人達に負けないようにがんばろう、といつも思っていました。

清陵を卒業後、私は岐阜大学医学部に進学しました。大学を卒業後は、岐阜県にて消化器病・肝臓病の臨床を行いながら、大学院や米国Columbia大学にて研究を続け、2015年に岐阜大

学医学部第一内科（消化器・血液内科）の教授を拝命しました。私は医学部の学生や講座の教員に「地域医療を支え、全国・世界に情報を発信し、未来の医学の発展に貢献する医師・医学医研究者をめざそう！」と伝えていきます。地域において、目の前の患者さんを一生懸命診察することは当然ですが、その一例一例の日々の診療が、全国・世界・未来の医療・医学研究の発展につながっていることを忘れてはいけません。私も地域（いわゆる田舎）の病院で臨床を行いながら、大学病院では日本の肝硬変診療ガイドライン（医師の教科書的なもの）の改定に資する論文や、欧米のガイドラインに引用される論文を発表してきました（全国・世界に情報を発信することができました）。また肝臓癌の発癌を抑制する研究（新規薬剤の開発）にも取り組んでおりますが、将来、この薬剤が臨床応用されれば、世界の医療を変えることができると信じています（未だ未だ道半ばですが）。地域社会や目の前の人々の幸せのために努力しながら、全国・世界・未来につながる仕事を意識・実践することは、どの職種にも共通するテーマだと思います。諏訪にいても諏訪を離れていても、たくさんの清陵OB・OGがより良い社会や人々の幸福を実現するために、これからも貢献し続けることを願っています（自分もそうありたいと努力してまいります）。

私は現在、岐阜大学医学部附属病院や岐阜県の地域医療に対して責任を担う立場にあり、しばしば難しい判断を

迫られる場面があります。その際に大切にすることは、「自反而縮雖千萬人吾往矣」の精神です。「雖千萬人吾往矣」は勇ましいphraseですが、「自反而縮」がなければただの我が儘であり注意が必要です。一方で、自分の心を何回も振り返って責任を取る覚悟を持てば、信念を持ってどんな困難にも立ち向かって行くことができます。この大切な言葉（これも熾火の一つです）を教えていただいた母校の益々の発展と、今も清陵で学び、また清陵から巣立った仲間達の更なるご活躍を祈念し筆を擱きます。

私の熾火

清陵時代の私の心の熾火は、サッカー部の仲間や同級生達と過ごした何気ない時間です。某乳酸飲料（マ〇ー）を飲み某氷菓（ガ〇ガ〇君）を食べながら、部室でテーブル・フットボール（棒でガチャガチャするあれ）をしながら、サッカー部のグラウンドに移動するため自転車漕ぎながら、清陵祭のフォークダンスの相手が見つからず立石公園に向かって走りながら（プラス泣きながら）繰り返した何気ない会話の中に、友人達のカッコ良さ（考え方の多様性・ユニークさ、強さ、爽やかさ、そして矜持！）を感じることがありました。この時間・会話は、「自反而縮雖千萬人吾往矣」の精神とともに、決して消えることのない私の心の熾火となっています。



大学時代はラグビーに はまりました

プロの仕上がり、家庭や職場でも。



ファッションの未来を迫及し、
衣料仕上機械の製造で、世界の発展に貢献する。

itsumi 株式会社イツミ

代表取締役社長 五味 淳 (92回生)

- 縫製工場用機械、芯地接着プレス機
- クリーニング工場洗濯機、乾燥機、プレス機
- コインランドリー用洗濯機、乾燥機
- 福祉施設、病院用洗濯機、乾燥機、プレス機
- 新産業用熱加工機

ふるさとがあるから、旅立てる

三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー株式会社
業務システム開発担当

武井 敦子 (92 回)

岡谷東部中卒。親戚の武井武雄に肖り「タケイタケル」名義で
シンガーソングライターとして活動



自分は東京で働く傍ら、音楽活動をしたり、休暇のたびに旅行に行ってインスタグラムに投稿したり…と、なかなか自由な生活を送っている。それが『多様性が求められる時代にふさわしい生き方』と推薦いただき、寄稿することになった。

音楽活動をするようになったのは、就職後、仕事だけでは心のバランスを保てないと悟り、ボイストレーニングの学校に通い始めたことから。シンガーソングライターコースに通って、定期的な発表の場（同じコースの生徒たちがレコーディングスタジオに集められ、一人ずつ歌われる）で歌っているうちに、曲を褒められることが増え、ほかの生徒に曲を提供したりするようになった。

学校には生徒のランクのようなものがあり、可能性が認められると授業料が免除されたり、デビューに向けた支援を受けられたりする。そうすると、やはり上を目指したくなる。曲作りだけでなく、何かを世に発信するときに優位にたつ方法のひとつが、「ひとがやっていないことをする」ということだ。ビジネス的に言えば「差別化戦略」だろうか。そうすると「ほかの人にはない自分の持ち味とは」「自分が本当に心を動かされ、やりたいことは何か」を追求することになる。

たしか高校生のとき、音楽の先生が離任の挨拶で、どこかの国の民謡を教えてくれた事があった。そのメロディがとても美しく感動して、ずっと心に残っていた。そこで実家にあった世界の音楽を集めた CD を聞いたりするうち、ブルガリアの女性コーラスに辿り着いた。

「ブルガリアン・ヴォイス」とも呼ばれるその歌唱法は、ビリビリと響く地声の特徴的で、しかし自分には、御柱祭で歌われる「木遣り」とそっくり聞こえた。

またそのころ、中国の雲南省に旅行に出かけた。雲南省には多くの少数民族がおり、観光スポットで民族衣装を来た女性陣が輪になって民謡を歌っていたのだが、その歌唱法も衣装も「ブルガリアン・ヴォイス」とそっくりであった。東ヨーロッパ、中国、日本…遠く離れていても、世界はつながっている。そんな思いで、民謡的なメロディ、発声法を取り入れて、ふるさとをテーマにした曲を作ったところ、学校で高評価をいただき、授業料免除を勝ち取ることができた。

しかし「ひとがやっていないこと」を目指すともニャクになってしまう傾向があり、あまり大衆受けしなかったり、それを追求し続けるのは難しかったりする。体力的な限界もあり、コロナ禍でライブ活動ができなくなったのを機に、現在は音楽活動は控えめにしている。

一方で、海外旅行には、また出かけるようになった。写真は、2023 年にいったヨルダンの「ペトラ遺跡」。ヨルダンはイスラム圏だが、イスラムの法「コーラン」には、旅人をもてなすべしという記述があるらしく、旅人にとっても親切にしてくれる。日本人は冷たいと思うってしまうほど、人間味を感じられるのがイスラムの国々だと思う。

海外にいくと、自分の価値基準・思考のベースのようなものは、どうしたってふるさと日本、そして諏訪にあることを実感する。それが楽しくもあり、やめられないのだ。



ヨルダン「ペトラ遺跡」

私の燦火

清陵を出て、京都大学農学部に進学後、東京で銀行のシステム子会社にずっと勤務している。清陵での印象に残っていることのひとつは、アクの強い先生が多かったことだ。「車も来ないのに赤信号で待っているやつはバカだ」と仰った先生がいて、それまで「ルールは守るべきもの」と思っていた自分は、衝撃を受けた。「人の決めたルールに従って思考停止するのではなく、自分の頭で考える」というメッセージは、「自反而縮雖千萬人吾往矣」の精神とも通じ、大きな影響を受けた。

また、自分の在学中に建て替えられたが、当初の木造校舎のトイレの汚さは強烈であった。海外旅行でどの国にいても耐えられるのは、これで培った耐性のおかげかもしれない。



ひと味ちがいます

タケヤみそ

株式会社 竹 屋

諏訪市湖岸通り 2-3-17

TEL (0266) 52-4000

www.takeya-miso.co.jp



92回生と附属中卒業生が

心の熾火

おきび

を語ってみた

昨年（2024年）清陵高校附属中学校が開校10周年を迎えました。その1期生（123回生）、2期生（124回生）と当番学年である92回生が、それぞれ清陵時代の思い出、現在の自分に与えた影響など清陵高校・中学を語り合いました。（文中敬称略）

やってみなければわからない

橋本 高校時代を振り返ると、クラスだったり部活だったり地方会だったり、受け皿がいっぱいある環境だったと思います。個人を尊重してくれて、「助けて」と言えば助けてくれるし、何かやりたいという人がいればやればよいという手の差し伸べ方が、仲間にも先生にもあった気がします。

竹内 個々の意思が尊重されていたよね。

吉川 私はアルペンスキーに取り組んでいましたが、高校へ進む際にはやめなくてはならないと考えていました。大学受験などで時間が取れな

くなるだろうという考えを先生に話すと、「どうしてできないと思うの？」と問われ、答えられませんでした。「やってみなければわからないよ」という言葉に背中を押されて高校でも競技を続けたのですが、この時の経験はその後何かを「やってみよう」という際の自分の原動力になっています（全国大会出場）。

いろんな考えといろんな人たち

橋本 学友会の副会長を務めたのですが、当初は「真っ当なことを真っ当に言うべき」と、肩に力が入り過ぎていたように思います。多くの仲間や先生と接している中で、「大きな声で言うことばかりが主張ではな

い」と知ることになりました。黙っていてもよく考えている人たちもいて、「いろんな人の意見を聞きながら進めていく」ことを学んだ気がします。

竹内 初めて談論会に出席したときには、壇上で話す人が異次元に思えましたが、やがて自分も「話したい」ことについて考えるようになりました。声を上げる人も、口数は少なくてもよく考えている人も、とにかくいろんな人がいました。個性がたくさんあって、濃い日々が重なっていたと思います。清陵祭のファイヤーストームで私は聖火隊長を務めたのですが、点火前に仲間と組んだ「民」は昨日のこつのように鮮明に蘇ります。今でも何かの壁にぶつかったときには「あの時、あの仲間たちとやったよな」と思い出す場面です。

中澤 清陵祭では部活ごとに盛り上がったたりしていても「静かにしようぜ」のタイミングで「シー！」が起きてみんなが一斉にまとまります。自分たちからこれを起こせるのは格好いいなと高校に入って思いました。

主体的に物事を考える

竹内 お二人はどうして清陵附属中を選んだのですか。

中澤 学校説明会で聞いた「自反而縮雖千万人吾往矣」の精神は当時小学生の私にもとても魅力的に響きました。入学すれば自分たちが1期生ということで、「自分たちが学校を創っていく」という楽しみもありました。



竹内 良之
(92回)

茅野市出身。大学卒業後、教員として県内各地の小中学校に勤務。阿智中学校長を務めた後、現在は岡谷田中小学校長。



橋本 由布子
(旧姓：木川 92回)

諏訪市出身。外資系銀行に就職後、米国公認会計士試験に合格し、事業会社を経て法律事務所の経理業務に就く。



中澤 新
(123回)

塩尻市出身、清陵附属中学校1期生。現在信大大学院に通いながら非常勤講師として松本市内で中学生に接している。



吉川 円香
(124回)

塩尻市出身。東北大学工学部3年次にカナダ・モントリオール理工科大学へ研究留学、4月から大学院へ進学。

吉川 スキーをずっとやっていたのですが、一般的に中学3年生の冬というのは技術が高まる時期であるにもかかわらず、受験のために競技をあきらめなくてはならないケースが多いです。自分がやりたいことと高校受験をしなくてよい環境を重ね合わせ、文武両道に惹かれて選びました。

竹内 実際に入学した附属中での日々はいかがでしたか。

中澤 清陵高校に根付いた「個人を尊重してくれる」がそのまま中学校にも落とし込まれていると感じました。生徒が「こうしたい」ということを先生も汲み取って一緒に考えてくれます。生徒同士も他を尊重して認め合い、手助けできる人が多かったと思います。

吉川 授業が特徴的だったと思います。ただ聞くだけでなく、主体的に物事を考える習慣が身に付いた気がします。「知りたい」「わかりたい」という生徒に対して、先生方も熱心に向き合ってくれました。

地域の皆さんに支えられて

橋本 私たちのときはちょうど校舎建て替えが重なり、清陵祭では「ファイヤーストームができるのか」が常に課題としてありました。「これまでやっていたからやりたい」ではなく、「なぜ、やるのか」「やるなら、どうやるのか」と毎日話し合い、一生懸命考えていた気がします。一方その裏で先生や大人の方々がサポートしてくれていたのも感じていました。清陵祭のファイヤースト

ムではご近所の家は洗濯物が干せなくなってしまうのですが、それらも受け容れて生徒の活動を支えてくれています。

竹内 清陵祭前夜祭に向けて我々の地方会は劇をやったのですが、同級生のお父さんが所有する倉庫をお借りして夜遅くまで準備に使わせていただきました。清陵生が地元で信頼されていたからできたのだろーと思います。

中澤 元町グラウンドまで続く坂は雪が凍ると大変なのですが、ご近所の方が雪かきをしていただけるおかげで行き来ができます。この坂道を陸上部が練習に使っていても声をかけていただき、嬉しかったですね。

吉川 湖周マラソンで走っていると、明らかに生徒の保護者よりも多いだろうと思われる人数の方々が沿道で応援してくれます。地元の高校として応援されているのを身近に感じました。

今しかできない経験を

橋本 高校3年生の理科で私は地学を選択していました。受けていたのは学年で10人くらいと少なかったのですが、9月の授業中に先生が「天体観測をするから夜に集まれ」と言ったのです。校舎屋上の天体ドームで先生は「勉強も大事だけれど、こうして星をみるのも大事だよ」と話しました。「星は昔からずっとある」「今見ているのは、もしかする

と地球ができる前に放たれた光かもしれない」と話される先生の言葉を聞きながら望遠鏡を覗いたことを、今もよく覚えています。

中澤 昨年、教育実習で附属中に行ったのですが自分たちが通っていた頃とほとんど変わらず、みな真面目で一生懸命勉強に取り組んでいる印象を受けました。その一方で、勉強だけではない、今しかできない人とのつながりや様々な経験も大切にしてほしいと思いました。私は中学から高校6年間陸上を続けて、最後の最後に全国大会に出場することができました。努力を重ねた末に得られる感動や経験をぜひ今の生徒たちにも味わってほしいと思います。

吉川 中学・高校時代というのは周囲の影響を受けやすい時期だと思います。自分の思いがあっても、つい周りを見て黙ってしまうこともあるかもしれません。でも自分が正しいと思ったらその道を信じて進んでほしいと思います。

竹内 まさに「自反而縮雖千万人吾往矣」ですね。



2025.2.24 zoomにて
諏訪⇄広島&仙台 ハイブリッド対談

諏訪清陵高等学校附属中学校 10周年記念式典開催

令和6年11月9日(土)に附属中学校の10周年記念式典を開催いたしました。清陵中ならではの「生徒手づくり」の記念式典にしようと、前年度末より生徒の実行委員を募集して準備を進めてきました。式典当日は、内堀繁利前長野県教育長をお迎えし、卒業生3名と現学友会長がステージ上でパネルディスカッションを行いました。進行も生徒実行委員が行い、これからの附属中学校の進むべき未来を会場にいる参加者全員で考えることができました。式典の最後には全校で「僕のこと」を合唱し、素晴らしい歌声で式典を締めくくりました。当日夜には祝賀会が仙岳において行われ、本校ゆかりの皆様にご参加いただき、10周年を祝うことができました。記念フォトブックの発行への補助や当日の信濃毎日新聞全面広告等、同窓会から多大なるご支援をいただき記念行事を行うことができましたこと、改めて感謝申し上げます。



今井同窓会長式辞



パネルディスカッション

第74回清陵祭 同窓会展示報告

令和6年6月29日(土)・30日(日)、国語4番教室にて、同窓会活動の紹介展示を行いました。この活動は令和元年に始まり5年目(令和2年は行わず)を数えます。メインは、「92回生4名(岩下英明さん、熊澤慎也さん、武居裕子さん、横内陽子さん)から清陵生へのメッセージ」。人気の展示は、「校歌モチーフ屏風・清陵祭ポスター展(美術研究室より借用)」 「各界で活躍している同窓生は母校の誇り」でした。83～92回生学年幹事の皆様には、ご活躍の同窓生を推薦頂き感謝申し上げます。茅野支部からは校歌に関する書籍2冊の販売がありました(会報2頁に広告有り)。54才の次年度当番幹事が、高校以来4回目の清陵祭でワイワイ団結。終了後は鷺乃湯にて80名の同期慰労会を開催できました。多くの方にご来場ご協力頂き、有難うございました。(92回生 笠原健一)



活躍する同窓生紹介には人の群れ



学生会役員と92回生



校歌に関する書籍2種販売



日本一長いらしい校歌のモチーフ屏風(清陵生が美術の授業で描いた 桜の高島城等)

来場者
アンケート
より

- ・「金色の民」の話は面白かった／世界で頑張っている先輩を見て勇気をもらった(清陵中)
- ・自分の進むべき場所、やるべきことを突き進み、社会に貢献している姿に感心した(清陵高)
- ・すごいなと思った。通学時間がかかっても通いたくなる学校だということがわかった(他校学生)
- ・同窓会組織がしっかりしていると思った(保護者)
- ・足を運びさえすれば懐かしいと卒業生に感じてもらえる展示(同窓生)

…………… 当日92回生発表のポスター【禁転載】と事後アンケートの結果はこちらから▶



真澄



MASUMI
SUWA 1662

七号酵母へ原点回帰

上質な食中酒で、人々の心を結びたい。——

酒造りの主役である酵母を、七号系自社株※へ回帰させるプロジェクトを進めています。

※1946年に諏訪蔵で発見された親株から選抜を重ねた優良酵母

七号酵母発祥蔵元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16
TEL: 0266-52-6161 FAX: 0266-53-4477



真澄ホームページ

2024 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 定期総会 開催報告

日 時：2024 年 6 月 22 日（土） 13：30～18：00

会 場：ハイブリッド開催 【対面】 駅前交流テラス すわっちゃオ、[オンライン] Zoom

参加者：206 名（うちオンライン 48 名）

■ 総 会 13：30 より

議長 北信支部長 岩本 弘 / 松本支部長 堀川精一
 議事 第 1 号議案 2023 年度 会務報告、決算報告および監査報告承認の件
 第 2 号議案 2024 年度 事業計画（案）ならびに一般会計予算（案）承認の件
 第 3 号議案 周年記念事業に関する件
 第 4 号議案 役員の選出について
 （中村博会長が退任され、新会長に今井竜五氏、新副会長に今井安榮氏、新監事に小泉悦夫氏を選任）



■ 91 回生企画 パネルディスカッション 15：00 より

テーマ「伝統と New Normal —われら架け橋世代が『拓く・繋ぐ・紡ぐ』—」

コーディネーター：藤森 完一 91 回生学年幹事

モデレーター：武居（芳沢）かほり 茅野市社会福祉協議会

パネリスト：牛山 健一 信濃毎日新聞社 総務局次長・経営戦略会議事務局長

パネリスト：白旗久美子 飯田市立病院 副院長・総合内科部長・臨床研修センター長

パネリスト：森（樋口）和美 長野放送（NBS）企画事業局事業部長

オンラインパネリスト：原 実 国連職員 国際原子力機関（IAEA）

チーフデータオフィサー（CDO）



清陵がいつの時代も重んじてきた「伝統」とコロナ禍に脚光を浴びた「New Normal」という対照的なワードをそのまま対比させたテーマで、各分野で活躍する 91 回生のパネリストにディスカッションいただきました。また、91 回生は、社会人になるちょうどそのときに日本経済のバブルが崩壊し、その前後の世代間にあるギャップを肌身で感じながらも、両者を理解し、橋渡しをする役目を担ってきた年代でもあります。自らを「架け橋世代」という造語で表現し、それを副題として、それぞれの思いを自由に語っていただきました。パネリストの皆さんが心の中で大事にしてきた「伝統」と未来に期待する「New Normal」、渡してきた様々な「架け橋」のお話を伺うことができ、大変有意義な企画となりました。

New Normal な試みとして、原氏にはウィーンからオンラインでパネリスト登壇いただき、本同窓会史上初のハイブリッド・パネルディスカッションとなりました。多少の配信トラブルがあったものの、リアルタイムで海外との距離を感じさせない充実したディスカッションをしていただくことができました。

コロナ禍明けの 2023 年度から対面開催が再開し、会場を「すわっちゃオ」としてのハイブリッド開催は、今回で 2 年目でした。オンラインを用いることにより、全国津々浦々どころか、世界各地で暮らしている清陵同窓生とさらに繋がることのできる可能性が示されました。

■ 懇親会 17：00 より

総会、パネルディスカッションの後、同会場で懇親会を開催いたしました。今回は、お料理付きで、参加費 2,000 円とさせていただきます。山崎壮一顧問の勢いある「乾杯！」のご発声でスタートし、楽しい歓談と縦横の交流を深める貴重な空間となりました。恒例の校歌斉唱は、次年度当番幹事となる 92 回生の力強い掛け声と太鼓の音頭により、参加者全員で声高らかに歌いました。91 回生の女性声楽家がアドリブで高音のハモリを入れて下さり、想定外の大合唱になりました。これも同窓会史上初ではなかったでしょうか。会の終わりに、今回で退任される中村博会長から感動のご挨拶をいただき、両角寛文東京清陵会会長による関東一本締めをもって、お開きとなりました。

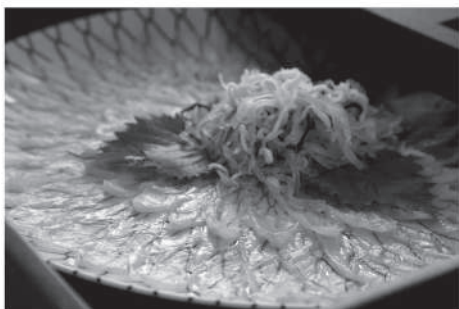
当日、お揃いのオリジナル T シャツを纏って当番幹事を務めた 91 回生の面々は、皆さんをお見送りした後、反省会兼後片付けと称し、清陵時代以来となる談話会を開催させていただきました。このような再結集の機会を与えてくれた同窓会に深く感謝しております。

最後に、お忙しい中ご来場いただきました皆様に、当番幹事学年一同、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。（91 回生 藤森 完一）



割烹 仙岳

代表取締役社長
小口慶一郎
(84 回生)



ご家族やお仲間の集いの場
としてご利用下さい

全室、個室です。
和室に椅子の部屋もご用意できます。

仕出しもご相談下さい。
ふぐ刺し・焼きかに等のお持ち帰りも
ご用意しております。
お祝いなど、特別な日の
お食事にいかがでしょう。

(←写真のふぐ刺しは持ち帰り用 3 人前)

<諏訪本店>
諏訪市湖岸通り 5-17-3
(湖明館通り)

TEL: 0266-58-3515

LINE 公式アカウント



<松本店>
松本市深志 2-2-15
TEL: 0263-35-7849

公益財団法人 諏訪圏学校理科教育振興基金について

理事長 小口 武男（77回生）

事業等の報告

当基金（略称「理振」）は諏訪清陵高等学校の理科教育に関する研究を奨励援助し、その振興に寄与することを目的として発足。その後その対象を諏訪地域等の中学校へと広げ、平成23年4月1日「公益財団法人」として認可を受けました。

現在は諏訪清陵高等学校の理科系クラブへの研究助成、資材助成を行うとともに、諏訪地域の中高一貫校及び中学校（17校）に対し理科教育等の振興のための助成金の支給を実施しています。また、助成事業の成果は、毎年「理科研究収録」としてまとめ、その足跡を残しております。

昨年度（令和6年度）は助成事業として、諏訪清陵高校及び中学校に1,500,000円、諏訪地域の中学校に対し600,000円の助成事業を実施いたしました。

財政基盤強化（ご寄付）のお願い

当基金はこれまで幾多の先達から賜った貴重な寄付金を「基本財産」とし、その運用益で運営しております。

我々の母校、諏訪清陵高校の実情を考えると、SSH認定校として国からの予算は終了し、昨年4月からは全て自主財源により密度の濃い課題探求型SSHを進めております。そこで、それらの活動を今まで以上に支援するには、運用財源の「基本財産」を増強するしか方法はありません。つきましては、同窓生の方々に、諏訪地

方等の理科教育振興のためにご協力をお願いする次第です。

本年は130周年ということもあり、振り込み用紙をこの同窓会誌封筒に同封させて頂き15000名余の皆さんに広くご寄付を募集をすることといたしました。

公益財団法人の許可を受けたことにより税法上、個人の場合は所得控除、法人の場合は損金算入の特典があります。寄付を受領後控除資料を記載の住所にお送りします。

なお、詳細につきましては、以下の連絡先までお問い合わせ願います。

【連絡先】

事務局 長野県諏訪清陵高等学校内
TEL 0266-52-0201（教頭：白木貴仁）
FAX 0266-57-2426

【振込口座】

・八十二銀行 諏訪支店 普通預金 8186
・諏訪信用金庫 上諏訪支店 普通預金 0021896
・ゆうちょ銀行
○五九（ゼロゴキウ）店 当座預金 0104457
名義は「公益財団法人諏訪圏学校理科教育振興基金」です。
※振込の際は何回生かが分かる情報を付加願います。

ずっと一緒に いつも近くに



私たちは、地域のみならずとともに、このまちの未来を創造しています！

理事長 田中 輝明（81回生）

武居秀実（80）・岡本賢吾（85）・藤森正樹（86）・藤森康久（88）・細田勝夫（88）・牛越智彦（91）・濱宏臣（91）

中村進（92）・林直樹（92）・五味孝洋（93）・五味貴（94）・樋口廣一（95）・宮阪清文（95）・矢澤吉行（95）

澤井靖忠（96）・鈴木真介（96）・花岡あかね（97）・宮澤正（98）・小口和恵（99）・竹内一記（99）藤原芳枝（99）

五味静絵（100）・小口泰平（101）・雨宮直之（103）・折井友彦（103）・矢島亮（103）・山田智史（103）大蔵隆道（104）

御子柴香奈（104）・浦野順平（105）・森山広基（108）・小口駿人（109）・河西瞳美（109）・小林奈津子（109）

竹村一也（109）・宮坂駿一（110）・根橋洋孝（112）・伊藤佑樹（113）・横内智（113）・小口剛典（114）・藤森尉光（114）

渡辺泰樹（115）・今井俊語（116）・高木陽平（116）・中川陽介（116）・中山真理子（116）・中山葵泉（122）

現役生と同窓生をつなぐ

母校連携交流事業

2024 年度活動報告

東京清陵会では、附属中学・高校のキャリア教育の一環として学校と協力しながら、4つの柱で母校連携を展開しています。

それぞれの発端は「母校の現役生に何か貢献できることはないか?」という同窓生の思いから発案されたもので、その思いが毎年継続されています。講義や見学を引き受けてくれる同窓生も「母校のためなら」と喜んで協力してくださり、現役生からも講義・見学後に熱い感想をもらっています。このような双方向の交流こそ、同窓会活動の醍醐味とも言えます。

今後も現役生の未来のために、多くの同窓生に協力をいただきつつこの事業を継続していききたいと思います。

◆母校連携の主な活動

テーマ	開始年	対象者	内容・目的
企業見学受け入れ	2016 年	中 3 生	研修旅行時に、企業を見学
キャリア講演会	2017 年	高 1 生	職業について具体的に話を聞く
大学模擬講義	2020 年	高 2 生	大学の紹介・講義を受ける
東大見学見学会	2023 年	高校生希望者	同窓生教授の授業、OB,OG との交流会

(1) 附属中学校「東京研修旅行」での企業受け入れ

この企画は 2016 年度より東京研修旅行時に、東京清陵会 OB、OG 協力による企業見学を通して、生徒一人一人の自分の将来像や自分らしい生き方を考える、きっかけづくりになればと始まったものですが、そもそもは東京清陵会の幹事年の時、後輩達のために我々が出来ることはないか?と北原君(82 回生)を中心に、同期が酒の席で会話をした事がその始まりだったと記憶しています。受け入れる各企業で働く先輩たちは、諏訪に生まれ、育ててもらったという経験を今更ながらに有難く思い、それゆえ熱心に案内や説明をするのだと思います。研修後に後輩の皆さんから頂戴する感謝状は何よりの宝物となっています。

(82 回生 竹内雅彦)

◆附属中学校「東京研修旅行」受け入れ企業

2024 年 11 月 1 日実施

企業名	担当者
JAMSTEC 研究推進部 (国土研究開発法人海洋研究開発機構)	藤井友紀子 (85 回生 小平秀一)
株式会社電通	89 回生 金子武司
清水建設(株)	82 回生 竹内雅彦
世田谷自然食品	池田昌弘 (75 回生 河西英治)
税理士法人フェアコンサルティング	上野利沙 (86 回生 細田 明)
KDDI 株式会社	90 回生 猪股美智
ブリヂストン株式会社	宮坂 淳 (75 回生 原 秀男)
古河電気工業株式会社	105 回生 川村知生

(2) キャリア講演会

講師の依頼にあたり、初めての方に突然メールすることもあります。多くの方が、依頼メールに対して、たいへんポジティブに応じていただけることは、同窓生の母校愛の強さと意識の高さを感じるどころです。また、講演後の生徒の感想には、進路、学業への参考にとどまらず、人生

に対する考え方まで影響を受けたというものもあり、身近な先輩である講師ならばこそ訴える力があるように思います。キャリア講演会も含め、母校にこのような形で同窓会がかかわることは、清陵独自の強みにもつながるという点で、たいへん重要なことと考えております。

(82 回生 小野隆吾)

◆キャリア講演会 講師リスト 2024 年 7 月 13 日実施

業種	氏名	回生	会社名、所属等
サービス(法律事務所)	古川 綾一	106	弁護士 小沢・秋山法律事務所
インフラ(運輸業)	大内 春菜	114	西日本旅客鉄道株式会社 (JR 西日本)
サービス (コンサルティング)	石城 陽太	116	アクセンチュア株式会社 データサイエンティスト
インフラ (電気・ガス・水道業)	帯川 恵輔	118	秩父新電力株式会社
医療・福祉	宮澤あずさ	118	順天堂大学医学部附属浦安病院 看護師
情報・通信	塚原 義臈	118	フューチャー株式会社 IT コンサルタント

(3) 大学模擬講義

2020 年、コロナ禍で行動制限があった年の幹事学年だった 88 回生が「大学見学をオンラインでも良いから実現してあげたい」と始まった大学模擬講義。今は全て対面の講義となり、今年も 8 講座を設けることになりました。講師も 76 回生から 95 回生まで幅広く依頼することができました。講義を聞く高 2 生は、自分の進路も視野にいて講義を選択、先生方には専門的な大学の授業をそのまま実施していただいています。講義後にもらう感想や質問を見るにつけ、生徒の皆さんの理解度の高さがうかがえます。

(88 回生 浜美智子)

◆2024 年講師と講義内容一覧 2024 年 9 月 21 日実施

講師名(回生)	講義タイトル
日本大学文理学部化学科 藤森 裕基先生(88)	水と氷の科学ー研究最前線
筑波大学医学部 木澤 義之先生(88)	重い病を持つ人をどう支えるか
獨協大学国際教養学部 野澤 聡先生(88)	大学で教養をどう学ぶか: 大学ゼロ回生の君たちへ
帝京大学先端総合研究機構及び理工学部・大学院理工学研究科 田沼 唯士先生(76)	イノベーションを生み出す設計とは ー持続可能な社会に必要な創造的なものづくりを支える工学
神戸大学大学院理学研究科 青沼 仁志先生(88)	昆虫が超高速運動を生み出すからくり
京都大学ヒト行動進化研究センター 今井 啓雄先生(89)	味覚受容体の変化とヒトを含む霊長類の進化
別府大学文学部国際言語・文化学科 藤森 千博先生(94)	ことばの多様性を生みだす仕組み
桃山学院大学・社会学部 村上あかね先生(95)	多様化する価値観・ライフコースと進路選択ー人生 100 年時代のライフ・シフト

(4) 東京大学キャンパス訪問

昨年からはじまった清陵生の東大訪問について、今年度も学校から要望があり、東京大学地震研究所 木下正高 教授(83 回生)、東京大学空間情報科学研究センター 小口高教授(84 回生)両先生にご対応いただきました。

実施日: 2024 年 8 月 6 日(火)
参加者: 清陵高校 1、2 年生 約 40 名
内 容: 木下先生、小口先生のレクチャー、地震研の施設見学、本郷キャンパスツアー、現役生(2 名)・OB(4 名)との交流会(自己紹介+質疑応答)

女性部だより

日頃より女性部に対するご理解・ご協力ありがとうございます。

「日本モンキーセンター京都大学犬山キャンパス見学と犬山城」研修旅行では、地元東海支部皆様の手厚いご協力を戴き、5年越しのチャレンジングなイベントが無事終了しました。東海支部さんのご尽力もさることながら、大型バスをいっぱいにもすることもでき、皆様のご理解ご協力のお陰と、ただただ感謝をお伝えしたいです。本当にありがとうございました。

オンラインイベント、ダイバーシティ&インクルージョンワークショップや、野球部インタビュー、ミモザデーミュージックカフェなどの女性部活動は、様々な皆様のご協力のもと、同窓会の輪を広げる一助になったかと思えます。今年度もダイバーシティ&インクルージョンワークショップは後半2回を予定し、ミモザデーにちなんだイベントも引き続き計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。

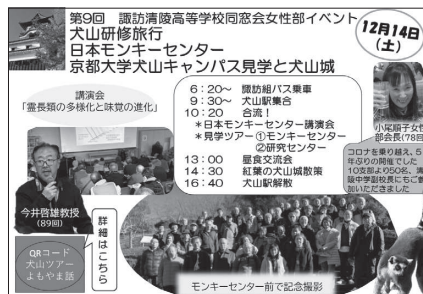
これらイベント報告とお知らせは、紙面の都合上、同窓会ホームページの「会報51号号外」ページに詳細を載せています。下のQRコードよりぜひお読みになって下さい。

(女性部長 小尾順子: 78回生)



日本モンキーセンター京都大学犬山キャンパス見学と犬山城

2024年の目玉イベント、大盛況でした！東海支部女性部長・敦賀不二佳さん(89回生)が楽しいレポートを寄せてくれました。同窓会 HP でぜひお読みください。



初の野球部女子キャプテン、五味遥花さんにインタビュー

新しい世界を切り開くマネージャー兼キャプテン・五味遥花さん(右)に、小尾女性部長と第25代野球部マネージャー・小松志穂(103回生:左)がインタビュー。



ミモザ Day おしゃべりカフェ

毎年恒例！ 国際女性デー関連イベント。カフェで楽しく交流しましょう。

2026年3月1日(日) 13:00～16:00

岡谷市中央通りカフェにて。詳細は同窓会 Facebook または支部幹事を通じて。

告知!

ダイバーシティ&インクルージョンワークショップ

昨年度からダイバーシティ推進を目的に開催したオンラインワークショップは、それぞれ20名を超すご参加を得て、多くの学びを得ました。これを受け、今年度も第3回・第4回を開催します。

◎第3回:2025年7月31日(木)

テーマ:「育児・少子化と多様な家族の私たち」育児経験男子のゲストを募集中!

◎第4回:2026年1月22日(木)

テーマ:「災害とダイバーシティ:緊急時における多様性の重要性」

詳細とお申込みは左下のQRコードから!

東京清陵会「東京の諏訪を探して街歩き」—大森海苔編

東京支部(東京清陵会)女子部では、コロナ禍明けから橋爪ゆかさん(89回生)、柳澤寿男さん(93回生)らのコンサート鑑賞会を実施してきました。そして3/30(日)には「東京で諏訪を感じよう」という目的で、東京湾周辺で活躍してきた諏訪の海苔商の人々の足跡をめぐる街歩きを開催しました。佐藤美智子さん(88回生)のレポートと写真を Web 号外でぜひご覧ください。なお、次回は日暮里界隈を予定しています。(吉中宏子:89回生)



二度の廃部乗り越え復活！ 清陵野球部、50年の足跡と目指すもの

清陵130年史 部史寄稿第1弾!

オンライン130年史では、部活動の歴史をめぐる寄稿を募集しています。初の寄稿は、50年前に現在の野球部(3代目)を興した78回生の川村益昭さん。「清陵に野球部はいらない」という逆風の中で、グラウンドもボールもない同好会から立ち上がった、涙と笑いと感動の物語。右のQRコードからぜひお読みください。



全同窓会員の皆様へ オンライン名簿 ご登録のお願い

同窓会では、新型コロナ禍を機にIT化が進む母校とともに、同窓会活動のDX (Digital Transformation) も必須と考え、130周年事業にDX推進部会を設けて活動を進めてきました。DX推進部会には、①130年史編纂部門、②名簿部門、③事務局機能強化部門が設けられています。①②については、個人情報の保護と経費節減のためオンライン化するため。③については、そのためのIT・セキュリティ管理体制を強化するためです。

名簿部門は昨年10/23、今井同窓会長が(株)アットランド(諏訪市沖田、長濱政史社長)と委託契約を結び、現在オンライン名簿の整備を最優先課題に、クラウド型インフラの構築に取り組んでいます。

上のQRコードからオンライン名簿への登録をお願いします。

オンライン名簿を縦覧できるのは執行部や支部などのDX委員のみとなりますが、一般会員の皆様は、登録した「マイページ」を通じて互いに交流することが可能になります。また、記念事業や勉強会、模擬講義など同窓会活動を通して現役高校生のお役に立てるものにできるよう、知恵を出し合っているところです。

オンライン130年史にご寄稿を！

130年史編纂部門は、100年史を完成版とした上で、その後の30年間についての年表、ご寄稿等によるトピックのまとめなどを行っています。章立てはHPに掲載の120年史に準じますが、オンライン版のため紙数に制限がありません。特に、年史に部史を加えたいというご意見もあり、左ページのように野球部からの部史寄稿第1弾もいただきました。皆様もHPをご覧の上、これは残すべきとお感じになっていることなどをぜひお寄せ下さい。OB・OG会の連絡先などもご存じでしたら、ぜひご一報ください。

DX推進部会長 小尾順子(78回生)
事務局機能強化部門長 石埜穂高(同)



<https://suwaseiryu.com/register.html>

スマホなら上のQRコードから、PCならURLから①の登録画面にお入りください。現状のオンライン名簿に照会します。

※PCでも同様の画面が展開します。
※オンライン環境をお持ちでない方は、同封はがきの「オンライン名簿登録用確認票」にご記入の上ご返送ください。

④で新規パスワードを入力して登録ボタンをタップすれば本登録が完了し、⑤のマイページに進みます。任意で会員情報の追加・編集をよろしくお願いします。
※本登録と同時にマイページへのログインURLをご登録のメールアドレスにお送りします。同窓会HPにも会員用ログインボタンがありますので、2度目以降はそこからお入りください。

マイページは成長します！

マイページには住所・電話番号のほか、出身中学、所属クラブや最終学歴、職業・勤務先、専門性・趣味などプロフィールが入力できます。出身や住所、勤務先などが近い同窓生を検索して交流できるほか、専門性や趣味を生かした母校への貢献など、大きな可能性が広がっていきます。

※万一照会ができない場合は事務局への問合せフォームが表示されますのでお問合せください。

②でメールアドレスを入力し、会則DX条項と個人情報保護方針をお読みになって「仮登録」ボタンを押すと③が開き、ご登録のメールアドレスに本登録用のURLが届きます。URLをタップすると④が開きます。

※スマホの設定によっては別のブラウザが開いて本登録に進めない場合があります。そのときは別のブラウザを閉じて③の画面に戻ってください。メール認証は完了しているので、「初回ログインはこちら」ボタンをタップすると④に進めます。

※各画面は開発中のものを掲載しました。実際の画面とは文字などが異なることがあります。

清陵同窓会小史

創立120～130周年（2015～2025年、平成27～令和7年）

詳細は各年の会報を、また120周年迄については会報41号の12頁以下をご参照ください。
同窓会のホームページからも閲覧できます。

- 同窓会長：2015年～2017年矢崎和広、2017年～2024年中村博、2024年～今井竜五
- 入学式 新入生（121～130回生）へ：従来からの「校歌」CDに加え、2015年は「清水ヶ丘にうたう」DVD、
2016年～2019年は「清陵高・附属中」PRビデオを贈呈
- 卒業式 高校卒業生（119～128回生）へ：従来からの印鑑に加え、2015年は記録ビデオを贈呈
中学卒業生（1～9期生）へ：2019年～卒業証書入れを贈呈
- 物故者慰霊法要（地蔵寺）：毎年11月
- ◆2015年 10月24日 高校120周年記念事業 天野浩名大教授（ノーベル物理学賞受賞）講演会
- ◆2018年 6月30日 本部定期総会にて同窓会女性部設立承認、正式発足
- ◆2024年 11月9日 附属中学校10周年記念事業

▼同窓会総会開催日、企画一覧（網掛け部分は新型コロナ流行期）

西暦	元号	開催日	会場（形式）	当番	企画テーマ	備考（演者の回生など）
2015	H27	6.27（土）	ホテル紅や（対面）	82	【120周年記念】 10年後（2025年）の日本を語る	73. 76. 82. 91回
2016	H28	6.25（土）		83	清陵時代と今の自分：その関わり	68. 83. 93回
2017	H29	6.24（土）		84	「清陵に女子が」と言われた時代から	67. 84. 103回女性
2018	H30	6.30（土）		85	「平成」とはなんだったのか・・・ そして次の時代へ	85回4名
2019	R1	6.29（土）		86	「未来の諏訪」を語り合う キー ノートスピーチ&“清陵カフェ”	86回生4名+班毎対談
2020	R2	中止		87		
2021	R3	6.26（土）	オンライン	88	自反而縮雖 COVID-19 吾往矣	88回7名講演等・談論会
2022	R4	6.25（土）	オンライン	89	ひととはなにか ～みえないものをみるために～	89回3名+8班討論会
2023	R5	6.24（土）	すわっチャオ （ハイブリッド）	90	リアル55歳！幸せの追求のため にやってきたこと	90回5名と現役生5名
2024	R6	6.22（土）		91	伝統と New Normal ～われら架け 橋世代が「拓く・繋ぐ・紡ぐ」～	91回4名（海外・諏訪 会場）

旧制諏訪中学校・諏訪清陵高等学校

創立130周年記念式典

- 日時：令和7年10月18日（土） 午後2時
- 会場：諏訪清陵高等学校 大体育館
- 主催：旧制諏訪中学校・諏訪清陵高等学校創立130周年及び附属中学校創立10周年記念事業実行委員会
- 内容：①記念式典
- ②記念講演会 講師 岩本敏男氏 元NTTデータ社長、74回生
講師は、現在も経済界の主要メンバーとしてご活躍中です。
- ③記念祝賀会 ホテル「紅や」
- ※ この式典および講演会は、現役の中高生を主な対象にしたものです。
詳細は、学校（担当：倉澤・白木）へお問い合わせください。

令和 6 年度同窓会報「学校だより」

令和 6 年 4 月 4 日、入学式（中高合同）が行われ、高校生 240 名（男子 141 名、女子 99 名）及び附属中学校 11 期生 80 名（男子 40 名、女子 40 名）が入学しました。

スーパーサイエンスハイスクールは認定校として新たに 5 年間の指定を受け、同窓会、諏訪圏学校理科教育振興基金、PTA など様々にご協力をいただき、これまで同様、そしてそれ以上の探究活動が推進できる初年度となりました。また、クラブ活動、学友会活動にも清陵生らしく果敢に取り組み、各分野で素晴らしい成果を上げました。

附属中学校は創立 10 周年を迎え、11 月 9 日（土）には創立 10 周年記念式典を盛大に開催することができました。中学生の実行委員が主体的に式典や記念事業を計画、運営する姿は、多くの参加者に「さすが清陵」と言わしめるものでした。

生徒の活躍を中心に、この 1 年間の学校の様子をお知らせします。（以下敬称略）

【高等学校運動系クラブ】

インターハイには陸上、端艇、少林寺拳法、そしてスケートが出場しました。国民スポーツ大会には端艇とスケートが出場し、スケートの野明は少年女子の 1500 m、3000 m の 2 種目で優勝しました。

■長野県高等学校総合体育大会の主な成績

＜陸上＞

男子 100 m：垣内 7 位

男子 200m：垣内 4 位

男子 110m ハードル：北原 6 位

男子走高跳：松本 8 位

男子棒高跳：五味 1 位

男子 4 × 100m リレー：吉田・北原・杉井・垣内 3 位

女子 100m ハードル：飯島 5 位

女子 400m ハードル：飯島 3 位

女子棒高跳：赤羽 5 位

女子走幅跳：小倉 6 位

＜端艇＞

男子シングルスカル：小林 3 位、島田 6 位、芳賀 7 位、今井 8 位

女子シングルスカル：牛山 2 位、名取 3 位、傳田 5 位

男子ダブルスカル：山田・神農 3 位、北澤・齊藤 5 位

女子ダブルスカル：米倉・山岸 1 位

男子クォドルプル：北原・上田・堤・高野・植松 2 位

女子クォドルプル：永田・小口・井出・小林・酒井 1 位

＜硬式テニス・男子＞

団体出場

シングルス：太田

ダブルス：太田・神谷、野邊・小林、宮坂・日達、呉・稲葉

＜硬式テニス・女子＞

団体 3 位

シングルス：宮坂

ダブルス：宮坂・高砂、竹内・宮本

＜ソフトテニス＞

男子個人：植松・小林・男子団体出場

＜ハンドボール・男子＞

出場

＜剣道＞

男子個人：須江・男子団体出場

女子個人：畠山・女子団体出場

＜水泳＞

女子 400m 自由形：河口 3 位

女子 800m 自由形：河口 3 位

女子 100m 自由形、200m 自由形：渡邊

男子 100m 自由形：佐久間

＜バレーボール・男子＞

ベスト 16

＜バスケットボール・男子＞

出場

＜サッカー＞

出場

＜少林寺拳法＞

組演武：植松・植松 2 位

＜フィギュアスケート＞

シングル：若御子 5 位

■ブロック大会・全国大会等の成績

＜陸上部＞インターハイ

男子棒高跳：五味

＜端艇部＞インターハイ

女子ダブルスカル：米倉・山岸 準々決勝 4 着

女子クォドルプル：永田・小口・井出・小林・酒井 準決勝 5 着

＜少林寺拳法＞インターハイ

組演武：植松・植松

＜スピードスケート＞インターハイ

女子 3000m：野明 1 位、1500m：野明 5 位

＜陸上部＞北信越大会

男子棒高跳：五味 5 位

＜端艇部＞北信越大会

男子シングルスカル：小林 9 位

女子シングルスカル：牛山 4 位、名取 5 位

男子ダブルスカル：山田・神農 5 位

女子ダブルスカル：米倉・山岸 3 位

男子クォドルプル：北原・上田・堤・高野・植松 7 位

女子クォドルプル：永田・小口・井出・小林・酒井 3 位

女子総合 1 位、男子総合 10 位

＜端艇部＞国民スポーツ大会

女子シングルスカル：米倉 準決勝 4 着

男子シングルスカル：山田 4 位

＜スピードスケート＞国民スポーツ大会

少年女子 1500m：野明 1 位、3000m：野明 1 位

■長野県高等学校新人体育大会等の主な成績

＜陸上＞県大会

男子 100m：垣内 2 位

男子 200m：垣内 2 位

男子 400m：蔵前 1 位

男子走高跳：松本 5 位

男子 4 × 100m リレー：吉田・垣内・小川・蔵前 4 位

男子 4 × 400m リレー：小川・蔵前・吉田・垣内 1 位（大会新）

女子棒高跳：赤羽 4 位

女子 4 × 400m リレー：小倉・中西・松本・赤羽 7 位

＜端艇＞県大会

男子シングルスカル：齋藤 3 位、芳賀 4 位、片山 5 位

女子シングルスカル：青木 2 位

男子ダブルスカル：堤・山田 1 位、石原・猪俣 2 位、北澤・物江 3 位

男子クォドルプル：三原・上田・高野・今井・島田 2 位

女子クォドルプル：永田・名取・牛山・傳田・山岸 1 位



創刊 124 年

地域と
歩み続けます

統合(諏訪)版 月額 3,480円(税込)

ご購読のお申し込み 0120-972-240

<硬式テニス・男子>

団体準優勝

<硬式テニス・女子>

シングルス：丸山、宮坂、田中

ダブルス：宮坂・丸山、高橋・鎌倉

<ソフトテニス>

男子個人：植松・小林・男子団体出場

<剣道>

男子個人：須江・男子団体ベスト16

女子個人：安田

<ハンドボール・男子>

出場

<水泳>

女子400m自由形、800m自由形：河口

<サッカー>

出場

<空手>

武居3位

<少林寺拳法>

組演武：植松・植松2位

■新人体育大会 ブロック大会・全国大会等の成績

<陸上>北信越大会

男子100m：垣内5位

男子400m：蔵前4位

男子4×400mリレー：小川・蔵前・吉田・垣内4位

<硬式テニス・男子>

団体出場

<空手>北信越大会

武居ベスト16

■その他の大会等の成績

<野球部>

春季大会ベスト16、秋季大会ベスト16

【高等学校文化系クラブ】

化学部有機合成班は、前年度のSSH生徒研究発表会での「科学技術振興機構理事長賞（2位）」の成績を認められ、中華人民共和国天津で開催された第38回中国青少年科学技術イノベーションコンテストに日本代表として出場しました。

クイズ研究部は、第44回全国高等学校クイズ選手権高校生クイズ2024に参加し、最終4校に残るといふ快挙を成し遂げました。

さらに、部の枠組みを超えて挑戦した「科学の甲子園」長野県予選で2年生8名のチームが総合成績1位（物理、化学、生物、実技競技1位、地学2位）で全国大会に駒を進め、総合成績2位（実技競技②2位、実技競技③1位）の栄誉を手に入れました。

<音楽部>

○NHK全国学校音楽コンクール

県大会金賞（金賞1位）、関東甲信越ブロック大会奨励賞

<吹奏楽部>

○長野県吹奏楽コンクールA編成 銀賞

○中部日本個人・重奏コンテスト本大会：中瀬（CI）金賞
<かるた部>

○第45回全国高校百人一首かるた選手権大会長野県予選5位

<書道部>

○長野県書道展 特選：小島

<写真部>

○第31回長野県高等学校写真展出品

<古典ギター部>

○全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール：努力賞

○県高校ギター・マンドリンフェスティバル：優秀賞

<フォークソング部>

○Power Live 2024K：4×40q 審査員賞（ベスト16）

○Power Live 2024KF：ム月暴動 特別賞（ベスト8）

<物理部>

○第6回長野県自然科学フェスティバル物理部門 優秀賞

<化学部>

○第38回中国青少年科学技術イノベーションコンテスト3位

○第48回全国高等学校総合文化祭出場

○第68回日本学生科学賞中央最終審査 旭化成賞（全国10位）

○第19回高校化学グランドコンテスト最終選考会出場

<天文気象部>

○日本地球惑星科学連合大会2024：優秀賞

○第6回長野県自然科学フェスティバル地学部門 優秀賞

<クイズ研究部>

○第44回全国高等学校クイズ選手権 高校生クイズ2024（日本テレビ）本戦出場（決勝4校）

○AQL2024 甲信越北陸リーグジュニアの部2位

<英語部>

○第32回長野県高校生英語ディベート大会3位

【附属中学校】

中学生も様々な分野で力を発揮しました。中高合同で活動するクラブもあり、今後ますますの活躍が期待されます。

○北信越中学校総合競技大会

・陸上 中学2年男子100m：小野7位

・水泳 中学3年男子100m自由形：高橋7位

○長野県少年フェンシング大会男子エペの部

1年 熊谷3位

○長野県中学校総合体育大会

・水泳 男子100m自由形：高橋3位、50m自由形：高橋4位

・陸上 中学2年男子100m：小野1位

○全日本中学校英語弁論大会長野県大会

3年 宮下7位

○長野県中学生ロボットコンテスト

諏訪清陵中 技術賞

○科学の甲子園ジュニア長野県予選

2年 戎谷（最優秀賞）（県代表として全国大会へ）

2年 中村（優秀賞）（県代表として全国大会へ）

○全日本学生・ジュニア短歌大会

2年 矢島（優良賞）

○統計グラフコンクール

3年 永田（長野経済研究所賞）、藤森（知事賞）、小泉（協会賞）

大好評！お申込み受付中！3つのサービスまとめてお得！



ひかりdeテレビ
BS4K放送にも対応
お家のどのテレビでもSTBアンテナなしで
BS放送が視聴できる！

ひかりdeネット
最大10Gbps
※ベストエフォート
諏訪地域最速の超高速コース！

ひかりdeトーク
通話料が
おトク!!
スマホのおトク割

お申込み
お問合せ



エルシーバイ株式会社



0120-123-8333 《受付時間》

9:00～17:30

<https://www.lcv.jp/> 《本社》〒392-8609 長野県諏訪市四賀821 TEL 0266-53-3833

学校賞 優秀校
○長野県学生科学賞
3 年 小森（県知事賞・全国大会へ）、1 年 川瀬（奨励賞）
○発明くふう展
2 年 赤羽（関東経済産業局長奨励賞）、2 年 石田（県知事賞）、1 年 丸田（発明協会会長奨励賞）
○中学生人権作文コンテスト
1 年 真壁（最優秀賞、中央大会へ推薦）、3 年 名村（優秀賞）

【学友会行事等】

学友会中心に全校参加の各種行事が令和 6 年度も無事に開催されました。清陵祭での同窓会展示や、湖周マラソンでの OB の走りから、清陵の伝統の重みと諸先輩の活躍を生徒たちは目の当たりにしました。

第 74 回清陵祭
6 月 28 日（金）～7 月 1 日（月） 約 4,000 名来校
端艇大会
8 月 30 日（金） 下諏訪町漕艇場
湖周マラソン
10 月 22 日（火） 諏訪湖周約 16 キロ

令和 7 年 3 月 4 日（火）に第 77 回卒業証書授与式が行われ、224 名（男子 128 名、女子 96 名）が学び舎を後にしました。（128 回生）
卒業生の進路状況は別表に示したとおりです。

令和 6 年度末 教職員人事異動

転・退職職員

校長	山岸 明	伊那北高校 校長
高校		
教科等	氏 名	異動先等
国語	下條 治久	松本深志高校
地歴公民	山本 正和	諏訪実業高校 定時制教頭
数学	木下 寛子	茅野高校
数学	三輪 三枝	伊那北高校
数学	横田 雅志	退職
理科	峯村 和光	長野吉田高校
理科	和田 貢	中野立志館高校
英語	大槻 昭彦	赤穂高校
英語	金井 親志	茅野高校
英語	北澤 諄子	松本美須々ヶ丘高校
英語	吉越 慎二	岡谷東高校
事務長	横山 浩明	退職
事務	小口 史恵	退職

附属中学

教科等	氏 名	異動先等
国語	高梨真奈美	上田市立第二中学校
国語	栩秋 佳典	中川村立中川東小学校 教頭
社会	北澤 健一	南信教育事務所 指導主事
数学	増澤 直也	諏訪市立諏訪西中学校
英語	三浦 裕介	諏訪清陵高校

新 任 職 員

校長	倉澤 克弥	赤穂高校 全日制教頭
高校		
教科等	氏 名	前任校等
国語	小池 悠介	富士見高校
地歴公民	牛山 啓	辰野高校
地歴公民	山崎真佐男	
数学	谷口 徹博	長野高校
数学	竹内 無限	都立戸山高校（新規採用）
理科	中澤 健	丸子修学館高校
理科	小口 直喜	茅野高校
英語	黒岩 美里	伊那弥生ヶ丘高校
英語	吉村 朋子	岡谷南高校
英語	柿澤のぞみ	新規採用
英語	三浦 裕介	諏訪清陵高校附属中学校
養護	松浦 夏生	松本筑摩高校
事務長	下村 祥一	松本地域振興局環境・廃棄物対策課環境保全係長
主事	小出 美那	飯田建設事務所総務課総務係
事務	青木 緑	

附属中学

教科等	氏 名	前任校等
国語	関野 了	松本市立大野川小中学校
国語	中村 知浩	塩尻市立広陵中学校
数学	岩村 忠幸	岡谷市立岡谷西部中学校
英語	原 遥菜	塩尻市立丘中学校
英語	鷹野 みく	軽井沢高校



自然の恵みをお届けします。

 **世田谷自然食品**

代表取締役社長 河西英治（75回生）



令和6年度（2024年度）入試結果（令和7年4月現在）

卒業生数：224名 進学者数：182名 就職者数：0名 進学率：81.3%

国立大学

大学名	現役	既卒	合計
北見工業	1		1
北海道	1	1	2
弘前	1		1
岩手	1		1
東北	3	1	4
山形	1		1
福島		2	2
筑波	2	1	3
宇都宮	1		1
群馬	2	1	3
埼玉	1	1	2
千葉	4	1	5
東京	2		2
東京海洋	1		1
東京外国語	1		1
東京芸術	1		1
東京農工	1		1
一橋	2		2
横浜国立	1		1
上越教育	2		2
新潟	3	1	4
富山	1	1	2
金沢	6		6
福井		1	1

大学名	現役	既卒	合計
山梨	6		6
信州	21	2	23
岐阜	2		2
静岡	3		3
名古屋	5	1	6
滋賀	1		1
大阪	1		1
奈良教育	1		1
奈良女子	2		2
和歌山	1		1
広島	3		3
九州	1	1	2
国立大学合計	86	15	101

公立大学

大学名	現役	既卒	合計
群馬県立女子	1		1
高崎経済	1		1
前橋工科	2		2
東京都立	3	1	4
横浜市立	2		2
長岡造形	1		1
富山県立	1		1
福井県立	2		2
都留文科	3		3

大学名	現役	既卒	合計
山梨県立	1		1
長野県立	2		2
長野		1	1
諏訪東京理科	3		3
岐阜薬科	1	1	2
名古屋市立		3	3
大阪公立	1		1
公立大学合計	24	6	30

国公立大学計	110	21	131
--------	-----	----	-----

医学部医学科

大学名	現役	既卒	合計
弘前	1		1
岩手医科		1	1
東北		1	1
山形	1		1
国際医療福祉		1	1
自治医科	1	1	2
富山		1	1
信州	3		3
岐阜	1		1
名古屋市立		1	1
計	7	6	13

私立大学

大学名	現役	既卒	合計
富士	1		1
東北医科薬科		1	1
国際医療福祉	1		1
上武	1		1
駿河台	1		1
獨協	2		2
文教	10		10
千葉経済	1		1
千葉工業	1		1
千葉商科	1		1
明海		1	1
青山学院	5	2	7
亜細亜	2		2
桜美林	3	1	4
大妻女子	1		1
学習院	3	1	4
北里	6		6
共立女子	1		1
杏林	3		3
慶應義塾	4		4
工学院	2		2
國學院	2		2
国土館	4	1	5
駒澤	3	1	4



医療法人
高原医院
TAKAHARA CLINIC

整形外科・リハビリテーション科

院長 高原 健治（93回生）

上伊那郡南箕輪村 5586 番地 2
0265-98-0385
<http://www.takahara-clinic.jp>

ヨコイ眼科

院長 **横井 秀俊**
(89回生)

長野県茅野市宮川 4470 番地
TEL. (0266)72-2316



きくち泌尿器科クリニック
Kikuchi Urological Clinic

院長 **菊池 俊樹**
(83回生)

〒392-0021 諏訪市上川3丁目2314番地
TEL：0266-78-1045

消化器科・内科

清水クリニック

院長 清水俊樹（86回生）

諏訪市湖岸通り 5-13-18
TEL 0266-53-1625
FAX 0266-53-1635

大学名	現役	既卒	合計
実践女子	1		1
芝浦工業	13	2	15
順天堂	3	2	5
上智	3		3
昭和女子	1		1
昭和薬科	4		4
専修	3	2	5
大東文化	1	2	3
拓殖	1		1
玉川	1		1
中央	5	1	6
津田塾	4	1	5
帝京	1		1
東海	1		1
東京家政	3		3
東京経済	1	1	2
東京工科	1		1
東京工芸	2		2
東京造形	2		2
東京電機	1		1
東京農業	5		5
東京薬科	5	2	7
東京理科	7	1	8
東邦	3		3
東洋	10	5	15

大学名	現役	既卒	合計
二松学舎	1		1
日本	8	6	14
日本女子	2	1	3
法政	15	1	16
星薬科	1	1	2
武蔵野	7	2	9
武蔵野美術	1		1
明治	14	5	19
明治学院	3	1	4
明治薬科	4		4
明星	3		3
立教	4		4
立正	1		1
早稲田	8	3	11
神奈川	3	1	4
神奈川工科	1		1
神奈川歯科	1		1
関東学院	1		1
新潟医療福祉	3		3
金沢工業	6	1	7
北陸	1		1
山梨英和	1		1
佐久	1		1
長野保健医療	2		2
松本	7		7

大学名	現役	既卒	合計
松本看護	1		1
松本歯科	1		1
岐阜医療科学	2		2
岐阜協立	1		1
常葉	3		3
愛知学院	1		1
愛知淑徳	1		1
金城学院	1		1
中京	2	1	3
中部	1		1
名古屋外国語	1		1
名古屋学芸	1		1
名古屋芸術	1		1
南山	5		5
名城	2		2
京都産業	1		1
京都橘	1		1
同志社	3		3
同志社女子	1		1
立命館	6	3	9
龍谷	1		1
大阪産業	1		1
関西	2		2
関西医療	1		1
関西学院	5		5

大学名	現役	既卒	合計
近畿	5		5
武庫川女子	1		1
私立大学合計	291	53	344

短期大学

学校名	現役	既卒	合計
国学院北海道短大部		1	1
目白大短大部	1		1
ヤマザキ動物看護専門職短	1		1
短期大学合計	2	1	3

専門各種学校

学校名	現役	既卒	合計
諏訪赤十字看護	1		1
水産大学校	1		1
東京ウェディング&ブライダル	1		1
松本調理師製菓師	1		1
専門各種学校合計	4	0	4



このハートクリニック
Kono Heart Clinic

〒392-0015 諏訪市中洲 5680-1 Tel. 0266-78-5810

院長 河野浩貴 (85回生)



平出クリニック
Hiraide Clinic

内科・産婦人科

祝130周年 平出 公仁 (55 回生)
小林 仁美 (87 回生)

〒391-0001 長野県茅野市ちの 628-1
TEL.0266-72-1661

「便利な商品」を「お求めやすい価格で」



メガネのナガタ

代表取締役 永田 滋弘 (88回生)

株式会社メガネのナガタ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2323



太陽工業株式会社

精密加工業界のリーディングカンパニー

(太陽工業グループ)

代表取締役社長 小平直史(88 回生)

会社所在地

- 本社工場／〒392-8585 長野県諏訪市四賀107 ☎0266-58-7000
- 諏訪南工場／茅野市金沢3410-10
- テクノロジーセンター輝／茅野市金沢3410-5
- 豊平工場／茅野市豊平 1528

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部（東京清陵会）	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：藤森廣幸（70 回） 副支部長：小林悟郎（56 回） 山田正幸（59 回） 岡田敏史（63 回） 小池千代枝（64 回） 監事：篠原明彦（69 回） 北原幸一（70 回） 相談役：小坂祥造（63 回） 土橋勝（64 回） 顧問：花岡正（69 回） 事務局局長：名取和一（75 回） 幹事：小松文吉（56 回）松木 本興（61 回）鈴木勝（64 回） 小池豊二（70 回）窪田昭男（71 回）植松高志（72 回）花岡 正浩（76 回）関 聖（83 回） 間部陽一（83 回）小林健児（87 回）青沼仁志（88 回）黒澤弘 之（91 回）西出あすか（94 回） 藤森賢也（94 回）	支部長： 今井安榮（67 回） 副支部長： 細田正昭（65 回） 塚平均（69 回） 事務局局長： 矢澤弘司（81 回） 事務局次長： 濱隆二（73 回） 今井啓雄（89 回） 事務局次長・女性部長（兼務） 敦賀不二佳（89 回） 顧問： 太田龍朗（61 回） 会計監査： 鶴巻健彦（63 回）	会長： 両角寛文（78 回） 副会長：有賀一温（75 回） 石壁徳高（78 回） 米澤あ子（80 回） 北原譲（82 回） 細田明（86 回） 会計幹事：小海健治（84 回） 監査幹事：青木基浩（82 回） 事務局次長：吉中宏子（89 回） 副事務局次長： 武田正利（86 回） 佐藤美智子（88 回） 事務局幹部 岡本徹（83 回） 赤羽俊昭（84 回） 清水信次（84 回） 荒木健太郎（99 回）	支部長： 堀川精一（69 回） 副支部長： 矢崎幹明（71 回） 幹事長： 吉田利幸（74 回） 会計：竹中優之（88 回） 会計監査： 野口義輝（69 回） 女性部長： 北原薫（86 回） 常任幹事： 川上隆（72 回） 原恵二（73 回） 竹内達也（74 回） 藤森秀彦（85 回） 両角仁志（87 回） 山岡史明（91 回） 顧問：小林治雄（65 回）	支部長： 加島範久（70 回） 副支部長：林靖（62 回） 相談役： 伊藤藤一（58 回） 大森尚人（68 回） 幹事長：赤羽博（78 回） 会計：福島正寿（80 回） 事務局：平泉規（94 回） 幹事： 長谷川茂夫（60 回） 根橋義太郎（71 回） 川島弘（73 回） 寺沢則子（79 回） 武居保男（80 回） 橋本実樹（80 回） 加藤恒男（86 回） 中村海基（92 回） 古村慎二（92 回）	支部長： 守屋正造（82 回） 副支部長： 畑谷広治（79 回） 樋代章平（86 回） 伏見清彦（92 回）
事務局連絡先	〒 560-0011 豊中市上野西 2-11-61 TEL：090-5019-9789 Email：antimarck@yahoo.co.jp	〒 482-0034 岩倉市石仏町市ノ坪 19 番地ラ・グランデールセ ルビエ 603 号 TEL：090-6642-3445 Email： hisi19y@docomo.ne.jp	Email： tokyoseiryokai2017@gmail.com	〒 390-0841 松本市渚 4-1-25-704 TEL：090-1869-5791 FAX：0263-27-0318 Email： horisei@violet.plala.or.jp	〒 399-0422 辰野町平出 2174-2 TEL：090-1657-1837 Email： tadashi@hiraizumi.biz	〒 380-0837 長野市南長野野下 667-6 長野県土木センター 1 F 一般財団法人 消防試験 研究センター長野県支部 TEL：090-2322-8811 Email： 2Onagano-01shibuchou@ shoubo-shiken.or.jp
直近の支部総会	日時：令和7年3月16日（日） 場所：ホテルプラザオーサカ 出席者：35 名 内容： 第 28 回関西支部総会 ・講演会「認知症を遠ざける生 活習慣」 演者 窪田昭男（71 回生） 小児外科医・医学博士 ・総会 支部長、同窓会長、事 務局長、女性部会長、担当学年 幹事 挨拶 議案書審議一令和6年度活動報 告、決算書、令和7年度活動計 画、予算、役員の選出 懇親パーティー（福引）、第一、 第二校歌斉唱、集合写真撮影	令和6年8月3日（土） 場所：メルパルク NAGOYA （名古屋千種区） 出席者：23 名 内容： 1. 特別講演：「通信社の 仕事と私の経験」 講師：小林隆氏（88 回生） 時事通信社千葉支局長 2. 来賓挨拶 本会会長（新任）今井竜 五氏（74 回）、本部名誉 会長・学校長 山岸明氏 3. 会計報告及び支部議案 審議 4. 懇親会 今井潔氏（59 回）の乾杯 挨拶のあと、恒例の全員 スピーチ。往年の「談話 会」を彷彿させる会員相 互のやり取りのあと、日 本一長い「校歌」で終了。	令和6年10月5日（土） 場所：喜山倶楽部（日本教育会館 9 F） 出席者：会場 77 名＋オンライン 35 名 内容： 総会・記念講演会・懇親会／オンライ ン併用のハイブリッド開催、当番幹事 91 回生 ・総会： 令和6年度 事業報告／決算 令和7年度 事業計画／予算（案） 役員改選（案）、役員名称に伴う会則 改正（案） ・記念講演会： 演題：「地上の太陽を目指して （民間核融合炉開発の最前線）」 講師：株式会社 Helical Fusion 代表取締役 宮澤順一（91 回生） ・懇親会：平安の間（参加費 8,000 円 今回から事前振込に変更）、各種活動 報告と P R タイム	令和6年10月26日（土） 場所：ホテルモントー ニュ松本 出席者：18 名 内容： ・山岸学校長、今井同窓 会長、小尾同窓会女性部 長から挨拶・報告 ・田村茅野支部長から校 歌作詞者伝の紹介 ・令和5年～令和6年期 の活動報告・決算報告・ 監査報告 ・令和6年～令和7年期 の事業計画・予算案 ・同窓会女性部活動・ 130 周年記念 DX 推進事 業について	令和7年4月19日（土） 場所：たつのパークホテル 出席者：36 名 内容： ・議事 ①令和6年度会務報告及 び会計報告 ②令和7年度事業計画及 び予算 ③役員の改選について ・記念講演 演題：「70 年間の辰野町」 講師：三浦孝美（72 回生） ・懇親会	令和6年11月28日（木） 場所：ホテル信濃路 出席者：56 名 内容： 前年度立ち上げた支部活 動のあり方研究チームが、 現状や今後の対応などに ついて報告した。岩本弘 北信支部長と花岡佳市副 支部長がこの総会をもっ て退任、守屋正造副支部 長が新たな支部長に就い た。同窓会からの案内と して小口澄江女性部副部 長が同窓会の D X 化の取 組について、田村義明茅 野支部長が校歌作詞者関 連本の頒布について、そ れぞれ話された。今井竜 五同窓会長、中村博前同 窓会長、高木保夫事務局 長、山岸明学校長が出席。 前年度総会に続き校歌斉 唱は第一、第二すべてを 歌い総会を閉じた。
前年度活動	ゴルフ部会：10/29（火）- 小野グランド C・C NEW コー ス 参加者 6 名 歩こう部会：春は、「木津川、 宇治川そして桂川の三川合流地 を散策。先人の治水事業の苦闘 の歴史を偲ぶ」6/29（土）参加 者 13 名 秋は、「紅葉の中、都のたつみ 宇治を散策。古い歴史に思いを 馳せる」11/24（日）参加者 6 名 カルチャー部会：元興寺特別講 演会（講師：63 回生 増澤文武） 11/10（日）参加者 8 名 カラオケ懇親会 2/23（日）カ ラオケバブ タ（ゆう） 広報部会：第 35 号を発行済み 2/3（月）160 名 支部役員会：10/27（日）12-14 ホテルプラザオーサカ 17 名 一支部の活性化、会報原稿依頼、 役員選出	・令和6年4月3日（水） 第 1 回目 犬山研修ツ アー下見 ・令和6年12月14日（土） “本部女性部主催”犬山 モンキーセンターと京都 大学キャンパス見学及犬 山城見学研修ツアーサ ポート及参加（犬山駅現 地集合が 25 名もいて、 大変おどろきました。） ・令和7年1月25日（土） 新年会及役員会「令和7 年の方針について」	令和5.4/6/8/10/12/ 令和6.2 月 第 195～200 回清陵勉強会 令和5.5/10 月 東京清陵会ゴルフコンバ （高根 CC/紫 CC） 令和5.5 月 南信同窓連総会 （アルカディア市ヶ谷） 令和5.7 月 長野県東京同窓連総会 （アルカディア市ヶ谷） 令和5.8 月 会報「東京清陵会だより」 第 34 号発行 令和5.10 月 第 57 回定期総会 （アルカディア市ヶ谷） 令和5.12 月 ミドル交流会、女子力 UP 講座、南信同窓連忘年会 令和6.1 月 日本酒同好会「龍のいる 空間で真澄や地酒を楽しむ会」 令和6.2 月 長野県東京同窓連新年 会、橋爪ゆかさんコンサート鑑賞	・令和6年7月 支部長・幹事長打合せ ・令和6年8月 支部役員打合せ（支部総 会等について：メール交 換） ・令和7年3月1日（土） 支部役員会（活動方針検 討）	・支部役員会 令和7年1月15日（水） （令和7年度支部総会日 程等の検討） ・支部役員会 令和7年2月 （令和7年度支部総会の 細部打合） ・支部総会 令和7年4月19日（土）	9 月下旬に支部役員会を 開催、令和6年度総会に ついて 11 月下旬開催を 確認した。今後の支部活 動のあり方について研究 チームの報告を受け、総 会での対応などを話し 合った。また、支部長と 副支部長 1 名の退任の意 向について、後任役員の 調整を続けたとした。こ れまでの支部活動は県や 企業などの団体が中心 で、転勤職場の会員や高 齢会員が多い。若手や女 性、企業 O B の参加が引 き続き課題となっている。
今年度の計画	ゴルフ部会：未定 歩こう部会：春は「現代京都に 秀吉の痕跡を訪ねる」予定 カルチャー部会：カラオケ懇親 会、映画鑑賞会等を計画 広報部会：令和8年2月初旬に 会報を発行予定 支部役員会：必要に応じて秋に 開催予定 支部総会：令和8年3月予定	令和7年8月2日（土） ・東海支部第 40 回総会 （千種・メルパルク NAGOYA） 午前 11 時 30 分より	・会報「東京清陵会だより」第 35 号 発行、第 58 回定期総会・交流会開催 ・清陵勉強会、懇親ゴルフ会開催 ・第 8 回働くことを考える若手の会、 第 11 回ミドル交流会開催 ・女子会各種イベント開催 ・本部同窓会／南信同窓連／長野県東 京同窓連活動への参加 ・母校連携／生徒との交流推進（講師 派遣／企業訪問／清陵祭） ・会員情報管理の高度化と D X の推 進、130 周年事業への参画 ・ホームページや S N S の積極的な活 用と利用拡大 ・第 59 回定期総会は、令和7年10月 5 日（日）喜山倶楽部での開催を内定	・支部総会 （令和7年11月） ・支部役員会（随時） ・講演会開催（予定）	・支部総会 令和8年4月頃 ・支部役員会 必要に応じ開催	8 月ころを想定し令和7 年度支部総会を予定。

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長：藤原光郎 (75 回) 副支部長：阿部泰和 (77 回) 顧問：小林貢三郎 (52 回) 清水澄 (57 回) 堀内元長 (62 回) 荒木桂男 (63 回) 荒木敬悦 (72 回) 女性部：小松志穂 (103 回) 事務局：伊藤証 (84 回) 会計監査：津金敏三 (73 回) 五味正成 (83 回)	支部長：五味公守 (74 回) 副支部長・副会長：川合弘人 (76 回) 齊藤眞澄 (78 回) 女性部長 (兼)：齊藤眞澄 (78 回) 事務局：雨宮左京 (83 回)	支部長：田村義明 (70 回) 副支部長：宮坂和生 (73 回) 事務局長：北澤政英 (84 回)	支部長：宮下克彦 (80 回) 副支部長：小松弘明 (82 回) 事務局長：百瀬淳一 (80 回) 広報局長：阿部洋典 (80 回) 事務局次長：平島孝人 (81 回) 会計：田中達也 (81 回) 女性部長：小口理子 (84 回) 監事：平林隆夫 (78 回) 坂本純 (79 回) 相談役：石城正志 (78 回) 河西秀樹 (78 回)	支部長：山田孝實 (72 回) 副支部長：濱克典 (74 回) 野村光夫 (75 回) 女性部長：井上喜久美 (80 回) 事務局：新村浩一郎 (77 回)	支部長：宮坂好史 (75 回) 副支部長：高橋政幸 (71 回) 河西一彦 (79 回) 今村祐子 (84 回)
事務局連絡先	〒 391-0100 諏訪郡原村 10115-2 TEL：090-9660-4950 Email：qqvw8ux9k@lime.ocn.ne.jp	〒 399-0214 諏訪郡富士見町落合 12023-2 TEL：0266-62-7373 FAX：0266-62-7373 Email：qyf00272@nifty.com	〒 391-0301 茅野市北山 6740-1 TEL：090-9665-3256 Email：luckykit@po29.lcv.ne.jp	〒 392-0012 諏訪市四賀普門寺 339 TEL：090-4383-2574 Email：momose.j99@gmail.com	〒 393-0015 下諏訪町立町 3538 TEL：0266-27-2285 FAX：0266-27-2285 Email：niimura@alles.or.jp	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信用金庫内 TEL：0266-23-4567 FAX：0266-24-4055 Email：jinji@suwashinkin.jp
直近の支部総会	令和 6 年 11 月 2 日 (土) 場所：文化園内デリ & カフェ「K」 出席者：25 名 内容：今井同窓会長、高木事務局長、小尾女性部長、田村茅野支部長、山岸校長先生をお招きして原支部総会を開催しました。 講演会は、関雅一氏 (76 回生) の「坂本養川と原村」でした。	令和 7 年 2 月 23 日 (日) 場所：JA 会館ふじみ 出席者：35 名 内容：・令和 6 年度事業報告、決算報告 ・富士見支部会則の制定 ・基調講演 講師：小倉美恵子 (外部講師) 演題：「諏訪式。」で語ろう ～「川崎 - 富士見 土の人 風の人」	令和 7 年 2 月 9 日 (日) 場所：マリオローヤル会館 出席者：45 名 内容：本校同窓会今井会長挨拶 学校からの近況報告：白木教頭 女性部報告及び連絡等：小尾女性部長 ・講演会 演題：「若者が参画する社会とは?? 山浦発スウェーデン経由の知見」 講師：日本福祉大学専任講師 両角達平先生 (110 回生) ・懇親会	令和 6 年 11 月 1 日 (金) 場所：ホテル紅や 出席者：158 名 内容：○支部総会 会務及び会計報告 ○講演会 演題：「信州味噌はしているよね。じゃあ『諏訪味噌』は？」 講師：株式会社竹屋 取締役社長 藤森伝太 (92 回生) ○懇親会	令和 6 年 4 月 20 日 (土) 場所：ぎん月 出席者：23 名 内容：・令和 5 年度事業報告、決算報告 ・令和 6 年度事業計画、予算案 ・懇親会	令和 7 年 2 月 27 日 (木) 場所：メモリー (岡谷市中矢通り) 出席者：70 名 内容：・支部長挨拶 ・来賓祝辞 (山岸学校長・今井同窓会長・小尾同窓会副会長女性部長) ・令和 6 年度事業報告・決算報告 ・講演会 講師：河西美奈子さん (93 回生) スワンプロジェクト代表 演題：紙芝居・絵本の作成と諏訪の地域資料について
前年度活動	活動無し	・令和 6 年 12 月 本部女性部活動に参加	令和 6 年 11 月：支部幹事会開催 (支部総会開催等について) 令和 7 年 2 月 9 日 (日)：支部総会開催 令和 7 年 5 月 (予定)：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼 校歌第一、第二作詞者関係本の販促報告と御礼 (目標 各 200 冊) 実績 伊藤長七 232 冊 中島喜久平 286 冊 本校同窓会、全支部総会、清陵祭、諏訪寒水会、国際女性デー・ミュージックカフェ等に出向き、ご配慮、お世話になり感謝、御礼。	・令和 6 年 7 月 3 日 (水) 令和 6 年度第 2 回役員会 ・令和 6 年 9 月 9 日 (月) 第 3 回役員会 ・令和 6 年 10 月 20 日 (日) 第 4 回役員会 ・令和 7 年 3 月 21 日 (金) 第 5 回役員会兼引継及び令和 7 年度第 1 回役員会	・令和 6 年 12 月 14 日 (土) 本部女性部活動に参加	・正副支部長会 令和 6 年 12 月 20 日 (金) ・支部役員学年幹事会 令和 7 年 1 月 23 日 (木)
今年度の計画	令和 7 年度 原支部総会を 11 月頃に開催しますので、多くの方のご参加をお願いします。	・令和 7 年 1 月 地区役員会 ・令和 7 年 2 月 総会 富士見町現住会員の把握に努め、総会等への幅広い世代の参加を呼びかけたい。	令和 7 年 11 月：支部幹事会 (支部総会について) 令和 8 年 1 月：支部幹事会 (支部総会について) 令和 8 年 2 月：支部総会開催 令和 8 年 5 月：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	支部総会 (予定) 令和 7 年 11 月 7 日 (金) 18 時 ホテル紅や 講演会は 93 回生が企画	・支部総会 令和 7 年 6 月 14 日 (土) ぎん月 ・納涼会 (予定) 下諏訪町現住会員の把握に努め、総会等への幅広い世代の参加を呼びかけたい。	・正副支部長会 ・支部役員学年幹事会 ・支部総会 ・今後も若い世代や女性会員にも声がけを行い、幅広い世代が参加できる支部活動を目指していきます。

学年会短信

< 59 回生 > (59 清陵会)

首都圏在住者を中心とし、北は北海道から、西は兵庫県まで、諏訪地方からも参加して、59 清陵会（東京）を毎年（コロナ禍を除く）桜の時期に開催している。



宴会場近くの桜の名所を散策してから懇親会をしており、かつては皇居千鳥ヶ淵、新宿御苑などを散策したが、最近では門前仲町の大横川兩岸の桜を鑑賞している。開催回数は今年で49回となる。

この会はもともと昭和37年頃小平恒彦先生担任（2部）の有志が、地方へ赴任する仲間を激励し、近況確認などで集まったことが始まりで、和気あいあいとした雰囲気で行われている。その後、口コミで参加者が全学年に拡がり毎年開催するようになったのは昭和57年頃からである。この会には小平先生の奥様小平妙子様や高野進先生に参加いただいた。

コロナ禍前の参加者は30名/回以上いたが、コロナ禍で5年中断後再開した第48回はR6年4月13日に開催したが、体調が思わしくない人が多く出て18名の参加にとどまった。この内初参加の人が3名おり、卒業以来の無事を祝い合い、元気な老後のひと時を感じ合い、おいしい海鮮料理を堪能し、最後に恒例の校歌（第1・第2）を斉唱してお開きとなった。

今年は3月29日（土）に20年来お世話になっている東京江東区門前仲町の「海鮮料理「海の幸」」で米寿の祝いを兼ねて第49回59 清陵会（東京）を開催する。もう既に案内は出しているが、多くの会員の参加をお待ちしている。

R7年2月27日現在の参加予定者は16名でコロナ禍明けの前回よりも増加する見込みである。

この会を出来るだけ長く続けたいというのが会員の願いである。

(59 回生学年幹事 中島伸一 0266-53-3852

東京幹事 五味 隆 045-983-6917)

< 64 回生 > (東京ザザムシ会)

ザザムシ会（昭和33年入学の64 回生）の関東地方在住者で構成されている「東京ザザムシ会」の活動は、毎月第3水曜日に池袋の居酒屋で開かれる飲み会（粋酔会）と、毎週金曜日の夜にネット上で開催される Zoom ミーティングに代表されます。

粋酔会は2007年以来、コロナの自主規制期間を除いて継続しています。以前は飲み会の前に勉強会をやっていたのですが、コロナ以後は参加者が6～8名と半減してしまったので、勉強会は毎週の Zoom ミーティングに譲ってもっぱら懇親飲み会になっています。

Zoom ミーティングはコロナ禍の無聊を慰めるために始まったもので、毎回20人近くの参加者がいます。当初は退屈凌ぎの情報交換と言う位置づけでした。しかし2020年4月以来ほぼ毎週開催しているうちに次第に勉強会の色が濃くなってきて、参加者が持ち回りで日頃考えていることを話すようになりました。その内容は大変幅が広く、直近5回の講演題名は「水について」「明治初期の鉄道敷設」「トランプの卓袱台返し」「体温について」「修道女渡辺和子の紹介/南アジア古代文明」でした。

粋酔会も Zoom ミーティングも全ての同期生に開かれた会です。素晴らしい仲間が新しい参加者を大歓迎しますので、ご希望の方は是非連絡をください。

(東京ザザムシ会会長 花岡忠史 hanaoka.tadashi@nifty.com)

< 65 回生 >

1、同年会について

昨年の同年会は10月8日（火）に開催しました。昼の部の「ボート乗艇」には6名・諏訪周辺散策」には11名が参加、メインの「懇親会」には23名が参加しました。

北海道はじめ県外からの参加者も数名あり、お互いの近況などを

報告しあいながら旧交をあたため、おおいに盛り上がりました。

今年も秋に開催する予定です。当番幹事は3部と4部です。開催日時・場所等の詳細については、夏頃には連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

2、「八日会」について

諏訪地域在住の65 回生有志が集まっの飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月8日の午後6時30分から上諏訪駅前の「いずみ屋」で固定開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。

(65 回生学年幹事 青木成雄 0266-53-0072)

< 66 回生 > (碌々会)

碌々会傘寿（80 歳）記念の会は令和6年（2024）9月29～30日諏訪市浜の湯旅館で開催。40名（うち日帰り17名）参加。

古稀の祝い平成26年参加者56名は開校直後の清陵附属中学及び母校の見学を兼ねたがそれから10年の歳月が流れた。また卒業55年記念懇親会平成29年参加者53名以来新型コロナ禍もあり、今回の傘寿記念の会は7年振りの開催であった。まず80余名の今は亡き友に黙祷を捧げて懇親会に移ったが参加者の誰もが意気軒高たる若者に戻った。二次会は幹事部屋で大いに盛り上がり、今後は諏訪支部の例会を継続して全国からの会員の参加を歓迎する、そして米寿（88 歳）の賀の祝いでの再会を誓った。

諏訪支部忘年会11月29日、新年会令和7年1月29日各々諏訪市内で開催した。

学年幹事として長らくお世話になりました。今後は新幹事として小平正八さんが務めますのでよろしくお願いします。

(66 回生学年幹事 小口俊吉)

< 68 回生 >

我々は今年度で79才です。残り少ない学年同窓会を下記により開催いたしますので、多数の皆さんの参加をお願いします。

・日時 令和7年6月21日（土）午後6時

・場所 諏訪市湖岸通り5-17-7 中国料理紅蘭

・☎0266-58-1443 FAX0266-52-5177 会費2,000円

(68 回生学年幹事 矢沢昭三)

< 69 回生 > (無垢の会)

新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの発症等の状況を見ながら行いたいと思います。『皆さん集まって、大いに飲んで、大いに語ろう!』

下記の行事の詳細は、メール・はがき等で通知します。

① 親睦ゴルフ

85歳まで、120回開催に向けて皆で健康で頑張りましょう。

第97回：4月16日（水）／第98回：6月25日（水）／

第99回：9月3日（水）／第100回：11月12日（水）



ご宿泊・日帰り宴会
企業周年事業等
各種承ります



HOTEL BENIYA

TEL:0266-57-1111

〒392-8577 長野県諏訪市湖岸通り2-7-21

詳しくは、

ホテル紅や



会場 フォレストカントリークラブ三井の森

担当 小口憲司 (090-3063-5871) okenji@pol11.lcv.ne.jp

② 定期総会終了後の懇親会

日時 6月21日(土)午後6時30分より

場所 串焼一丁目(諏訪市大手一丁目)

担当 矢澤 博 (090-3312-1469) hiro.yaza.8974@gmail.com

③ 東京支部総会終了後の懇親会

日時 10月5日(日)午後5時より

場所 未定(別途連絡します)

担当 比田井昌英 (090-2545-7038)

masahide.takahidai@gmail.com

(69 回生学年幹事 矢澤 博)

< 73 回生 > (なみの会)

語呂合わせで「なみの会」と称しているわれわれ 73 回生は、1999 年の「卒後 30 年の集い」を皮切りに同期会を下記の通り開いてきました。8 回目となる集いを今年の 10 月 18 日(土)に予定しています。会場は、初めて諏訪市を離れて J R 茅野駅前のベルビア内「マリオ・ローヤル会館」。今春で 73 回生のすべてが 73 歳になった年にちなみ、「なみの会 73・73 の集い」と名づけました。コロナ禍に伴い、2 年遅れで催した前回 2023 年の「古希の集い」参加者は 67 人でした。同期仲間の皆さん、すでに開催案内がメールや郵送で届いていると思います。ぜひ参加してください。待っています。

(1) 1999 年 7 月 18 日、「卒後 30 年の集い」(於・ぬのはん)

(2) 2009 年 7 月 4 日、「卒後 40 年の集い」(於・RAKO 華乃井)

(3) 2012 年 7 月 7 日、「還暦の集い」(於・仙岳)

(4) 2014 年 7 月 5 日、「卒後 45 年の集い」(於・鷺乃湯)

(5) 2017 年 7 月 1 日、「65 歳の集い」(於・浜の湯)

(6) 2019 年 7 月 6 日、「卒後 50 年の集い」(於・ぬのはん)

(7) 2023 年 10 月 21 日、「古希の集い」(於・鷺乃湯)

(8) 2025 年 10 月 18 日(予定)、「73・73 の集い」(於・マリオ・ローヤル会館)

(73 回生学年幹事 松木敏博)

< 76 回生 >

2024 年 7 月 8 日～9 日、「古希記念・幻の修学旅行 No.3」に行ってきました。なぜか修学旅行が無かった学年ですが、2010 年の京都、2015 年の金沢、そして今回は出雲で、もう 3 回目になります。

参加メンバーは、県内の他、東北・関東・関西など全国各地から 21 名が参集。50 年ぶりの顔もあり、初めは手探りの時間もありましたが、近況報告を終えれば、気分はもう高校時代へタイムスリップ。出雲駅前広場では、膝や腰に不安を抱えた親父たちと息を切らしながら「民」をやり、久しぶりの一体感に浸りました。

翌日は出雲大社参拝。参道左側の大きな石灯籠の寄進者小口清助は岡谷の製糸業者、諏訪大社の祭神建御名方命は出雲から逃げてきたこと、しめ縄は他の神社とは逆で左本右末の配置、お清めの砂は稲佐の浜の砂を素鷺の社で交換など、博学の同級生が順番にガイドしてくれました。

あっという間にお別れの時間になりましたが、「次は伊勢神宮だ～」と誰かが言っていました。4 回目もありそうです。皆さん、機会があったらまた会いましょう！

(76 回生学年幹事 長野支部 赤羽昭彦)

< 77 回生 >

77 回同期会諸兄姉各位

昨年一昨年に引き続き同窓会総会終了後に「有志による懇親の会」が諏訪「秋月そば本店」にて開催されました。私は都合により出席できませんでしたが、各クラス幹事を中心に懇親の和が更に深まった事を嬉しく思います。

さて、懸案でありました 77 回生ネットワークの件ですが、個人情報でもあり、会員全員を網羅するまではいかず現在は小休止となっています。この件ではクラス幹事の平出美彦君に大変お世話になり紙上をもって心から感謝申し上げます。

なお、「有志による懇親の会」を本年も計画中です。期日は令和 7 年 6 月 21 日(土)の同窓会総会終了後の夕刻を予定しておりますが、詳細につきましては 5 月中までに学年幹事・クラス幹事に電話連絡をとりあってつめておく予定ですので、参加を希望する方は各クラス幹事にお問い合わせいただき、ふるっての参加を宜しくお願い致します。(会費につきましては、その日の出来高払いの予定で、会場も好評でしたので「秋月そば本店」(湖岸通り)を仮予約しております。)

(77 回生学年幹事 クラス幹事一同)

< 80 回生 >

毎年この短信では 80 回生の活躍、消息などの情報を載せ同期生に共有していただいておりますが、今年は恩師の訃報をお伝えします。80 回生 1 部の担任だった平島佐一先生が昨年 11 月にお亡くなりになりました。93 歳でした。私はたまたま 3 年間古典を教えていただきました。単なる解釈、文法などの説明にとどまらず、登場人物の本当の心情はどうだったのだろう、君たちだったらここでどんな行動を取るだろうか、などと生徒に考えさせる問いかけがありとても楽しい授業でした。先生自身も清陵の OB であり、学年幹事も務めていて懇親会で何度か一緒に飲ませていただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、平島先生以外にも 80 回生の授業を担当していただいた世界史の高木先生、日本史の平林先生、英語の土川先生(私の担任)、生物の三石先生など本当に個性的な先生ばかりでした。「自分の頭で考えろ」という清陵の DNA を持った先生方でした。土川先生の 3 年次の英語はラッセルの「幸福論(The Conquest of Happiness)」を原文で読みました。

ところで最近は「探究」が教育の最先端だそうです。実は 50 年前の清陵ではあたりまえのことだったのだ、と思っています。

(80 回生学年幹事 大久保純男)

< 81 回生 >

□ トピック 1: 学年同窓会 2024 開催

令和 6 年 9 月 28 日(土)“ホテル紅や”にて、前回の還暦同窓会から 5 年を経て学年同窓会を開催し、恩師の渋谷先生と 85 名の 81 回生に参加頂きました。思い出話や近況報告に花が咲き、楽しい時間を過ごすなかで次回 70 歳を迎えての学年同窓会開催を誓い合いました。



□ トピック 2: 「ねんりんピック」Rowing 全国 3 位

毎週日曜日に下諏訪ローイングパークに集まる Rowing 仲間「81 吾往矣」クルーを結成し、6 名で長野県代表として令和 6 年 10 月 19 日、20 日に開催された「ねんりんピック 2024 鳥取大会」に出場しました。高齢者の部(男子)に 17 クルー出場し、全国 3 位で銅メダルを獲得しました。

□ トピック 3: ゴルフ同好会発足

単発で開催していたゴルフコンペを定期的を実施することとし、27 名でスタート。記念すべき第 1 回大会を令和 6 年 11 月 17 日に蓼科高原 CC にて開催しました。

□ トピック 4: 恒例イベント

令和 6 年 4 月 6 日に高島城で「お花見会」を、令和 7 年 1 月 2 日

に新年会を開催しました。

◎1年を通してスポーツや懇親会で親睦を深め、大いに人生を楽しむ81回生でした。みんなもっと集まれー！

(81回生学年幹事 田中輝明 朱 尚孝 山崎玲子
81kaiseisuwaseiry@gmail.com)

<84回生>

日本地理学会会長の小口高君と元本校教頭の北澤潔君が、2月の国立国語研究所などによるプロジェクトのシンポジウムに登壇されました。下記に採録があります。

<https://shiminkagaku-pj.org/symposium/symposium-681/>

日頃の会話も体調と頭髪の話が中心になってきました。くれぐれもお体にはお気をつけください。

動静がありましたら、自薦他薦問わずぜひご連絡ください。

(84回生学年幹事 矢崎宏明 inunavisan@gmail.com)

<87回生>

87回生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

5年前(2020年)当番幹事の年、大勢の皆さんとの再会を楽しんでいた同窓会総会がコロナ禍突入で中止となってしまう、それ以降集まる機会がありませんでしたが、いよいよ今年迎える還暦を記念する学年会を開催します。

・日時：2025年11月23日(日)13:00～15:00

・会場：上諏訪の宴会場を予定 ・会費：10,000円くらい

これから改めて連絡係を通じて開催案内を行い、8月末までの間に参加者を募ります。

全員に同じようにお知らせしたいものの、連絡先のわからない方もいますので、なかなか案内の来ない方、待てない方は直接味澤までご連絡ください(090-1430-8705、まずはショートメールで連絡先をお知らせください)。また、もし連絡の取れる87回生がいたら、皆様からお誘いしていただけますと幸いです。

連絡係や準備の手伝いをお願いした／これからお願いする皆さん、どうぞよろしくお願いします。

それでは、多くの方のご参加をお待ちしております！

(87回生学年幹事 味澤敏行)

<89回生>

89回生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今年は恒例となった東京での同窓会開催年です。幹事の5部(飯島誠君、小口聖君)6部(細田健司君)が企画、準備を進めてくださっており、開催日は6月末～7月中旬頃を予定しています。間もなく皆様のもとにご案内が届くと思いますが、もし連絡先の変更や案内が届かないなどございましたら下記の連絡先へご一報くださると有難いです。

清陵時代を思い出や近況報告などを語りながら、美味しいお酒と料理で盛り上がりましょう！お会いできるのを楽しみにしています。

(89回生学年幹事 吉中宏子 hiroy621253@gmail.com)

<90回生>

90回生の皆さん、こんにちは。お元気ですか？昨年は、私の知る限りでは、長谷部先生をお迎えして2部の同窓会、4部、5部の同窓会、また、有志でのゴルフコンペ等、旧交を温める会が行われました。当番幹事の年から続くつながりが広がった様で、幸せを感じております。

今年は旧制諏訪中・清陵高校130周年にあたる節目の年です。ホテル紅やでの総会・企画はオンライン配信され、懇親会是对面のみにて開催されます(6/21(土)！)盛上げにご協力をお願いいたします<(_)_>

全体の懇親会を実施出来たらと考えております。詳細は別途、LINE、Facebook、メールなどでお知らせします。多くの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

(90回生学年幹事 小河原一浩 seiryodousou90@gmail.com)

<91回生>

91回生の皆様。昨年は当番幹事学年のお仕事、誠に疲れ様で

した。清陵を卒業して37年、我々91回生が、清陵時代ながらこのように総力を結集するときが来ようとは思ってもありませんでした。テーマを「伝統とNew Normal—われら架け橋世代が『拓く・繋ぐ・紡ぐ』—」に決める時から、今や様々な分野で活躍している同期の皆さんから、少しずつ、少しずつ、アイデアやパワーを持ち寄っていただき、企画を膨らませることができました。蓋を開けると、我々91回生ならではの手作り感と温もりがある、唯一無二の同窓会報、定期総会ができて上がっており(欲目でしょうか)、改めて91回生の団結力と、皆さんがこっそり心の中に持ち続けていた「清陵」というものの素晴らしさに感動いたしました。労を惜しまずご協力いただいた皆様に、この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて今年は、我らが親愛なる後輩、92回生が当番幹事となり、6月21日(土)の定期総会に向けて着々と準備を進めています。92回生にエールを送りつつ、その定期総会のあと、また91回生の学年同窓会を開催したいと思います。詳細については、LINE「諏訪清陵91回生」グループやFacebook「諏訪清陵高校第91回生」グループなどで発信して参ります。まだSNSのグループに入られていない同期の学友を見つけたら、どしどし招待ください。この当番幹事で再結集を機に、さらに多くの同期の仲間と繋がることのできれば幸いです。

(91回生学年幹事 藤森完一 kanichifujimori@hotmail.com)



<92回生>(九二会)

「55歳を機に老後を豊かに過ごさせる清陵同窓会の仕掛け」通り、幹事学年として会報や総会企画・支部総会回りで再会を楽しむ毎日です。昨年6月、卒後35周年同期会には担任3名と小池忠男先生を囲み80名が鷺乃湯に集結して“民”。清陵祭では同期4名が在校生へメッセージを伝え(p10参照)、12月には清陵中3年生への「地域開放講座」で宮入洋祐君、赤羽美和さんが夢実現へアドバイス。11月は諏訪支部で藤森伝太君(今年10/5も東京清陵会で講演予定)が、12月の東京清陵会「ミドル交流会」でノ瀬勝美君、竹内良之君が講演、忘年会。

【予定】今年6/21(土)本部企画では清水雅仁君がパネリスト。懇親会後は18時頃～紅やで同期会(本部と合わせて1.5万円)、21時頃～3次会 湖洛。皆様のご協力に感謝して再集結しましょう！

※LINE「清陵九二会 全体」(現120名)にご登録ください。

(92回生学年幹事 笠原健一 kenkasa24@gmail.com)



<93回生>(久燦会)

93回生が、同窓会総会の幹事を仰せつかる令和8年が来年に迫りました。令和7年度が清陵高校創立130周年の年で、学校主催の記念式典は令和7年10月18日(土)に開催されます。それを受けて、130周年の記念同窓会総会【令和8年(2026年)6月27日(土)開催予定】を行います。93回生がメイン幹事となります。みんな

で協力して、がんばりましょう。よろしくお願いします。まずは、今年度の総会【6月21日(土)】に参加し、学ばせていただくと共に、我々93回生の担う定期総会へのイメージ作りをしまいたいましょう。ご協力をお願いします。

また、今年度の清陵祭【7月5日(土)、6日(日)】では「同窓会ブース(教室)」を設営運営担当になります。前日4日(金)の準備をし、5日・6日常駐、6日夕方片付けです。昨年度の清陵祭は92回生が担当し、現在各界で活躍している同窓生のお名前を掲示したり、2024年の定期総会の動画放映をしたりしていました。さらに、92回生の4人の方を取り上げた特別展示や過去の清陵祭ポスターの展示もありました。93回生の企画展示に向けて準備が必要となりますので、こちらの方もぜひご協力ください。

最後に、令和7年7月5日(土)夜に、93回生(久燦会)同期会を開催予定です。来年度の総会や会報発行など、93回生が中心に動かなければいけないので、それに向けたキックオフの場としたいです。前述のように、7月5日・6日が清陵祭の一般開放日となりますので、久々に母校を訪ねてみてはいかがでしょうか。同窓会ブースには、93回生が常駐しますのでぜひご来場ください。

(93回生学年幹事 吉川 豪 yskwgo@yahoo.co.jp)

< 94 回生 > (丘誉会)

94回生のみなさんお元気ですか。私達は来年には清陵祭で同窓会としての出展を行う当番学年、再来年には同窓会総会や会報を取り仕切る幹事学年を控えており、これらに向けて今後さらにつながりを深めていこうと考えています。

一斉ご連絡や個別のメールなどでお声がけもさせていただきますが、本短信をご覧になっている方はまずはこの会報全体を隅々までお読みいただき、同窓会へのご理解を深め2年後に向けてイメージを膨らませていただければと思います。

幹事からのご連絡メールが届いていない方は右のQRコードから同期連絡のフォームにご登録をお願いいたします。お忙しい中とは思いますが楽しみながら進めていきましょう！



(94回生学年幹事 藤森賢也)

< 97 回生 >

97回生の皆さん、元気にしてますか？昨年は大谷翔平選手のMLB史上初「50-50(50本塁打・50盗塁)」の達成で日本中が盛り上がりしました。私たち世代も新年度になれば節目の50歳。人生100年時代と言われてますから、まさに50-50世代となります(笑)。

幼少期から学生そして家庭や仕事を頑張ってきたの50年、現在ど真ん中のオヤジ世代ではありますが、残りの人生も50年あると思えば、まだまだ新しいことにもチャレンジできることでしょう。仕事を頑張るもよし、家族との時間を大切にすることもよし、さらに知識を増やすべく読書するもよし、新しい趣味を持つもよし、旧友との親交を深めるもよし・・・

残りの50年、どのように楽しもうか？そんな節目の年なのかなと思ってます。

去る2023.10/7に行われた学年同窓会をきっかけに各クラスやグループで集まっているようです。もし、お集りの際には学年幹事に

も一報いただけると嬉しいです。

(97回生学年幹事 西村英一 tateshina24@gmail.com)

< 102 回生 >

102回生の皆様、お元気ですか。卒業からもう27年ですね。

私は学年幹事の高木政志です。地元で小学校の教員をしておりますが、ときどき、同学年の方の活躍されているお便りを目にするにつけ、とても懐かしく、嬉しい気持ちになります。

さて、私、この度メイン幹事学年の92回生の先輩より、6/21同窓会総会時のパネルディスカッションの演者を仰せつかりました。

今年度、私たちはサブ幹事ですが、10年後には幹事学年として、同窓会を開催する役目を受けます。ぜひ今年参加をして、その雰囲気味わってみましょう。私も以前参加しましたが、清陵魂と、それを大切にする先輩方の熱い気持ちを強く感じました。また皆さんと直接お会いして、懐かしく近況を語り合えればと思います。

総会後には、102回生の同窓会も企画しています。地元の方も、遠方の方も、ぜひこの機会にお集まりください！

(102回生学年幹事 高木政志)

< 112 回生 >

112回生の皆様、それぞれの場所で理想の花を咲かせていらっしゃいますでしょうか。学年幹事をしております元6部の青野翔です。卒業から数年は諏訪湖の花火や年末年始などの折に、クラスや部活などの仲間が集まることもありましたが、最近は連絡を取り合うことも少なくなってきました。そんな中、20年先輩の92回生から同窓会の総会にむけたお話をいただき、改めて当時のクラスの仲間たちに連絡をしてみたところ、北海道から九州まで日本各地で大活躍されている仲間たちから返事をもらい、とても嬉しい気持ちになりました。また、来たる今年の6月に開かれる総会の場で、各年代の卒業生達によるパネルディスカッションが開催されるということでお誘いをいただきました。112回生からは自身の会社を設立し、様々な舞台のプロデュースなどを行っている通崎千穂さんに登壇していただく予定で準備を進めております。112回生の皆様にも、ぜひ通崎さんの応援と同級生との再会を兼ねて、諏訪の地にお集まりいただけたら嬉しいです。総会の後にはぜひ112回生での食事の場を設け、懐かしい話をしましょう。お待ちしております。

(112回生学年幹事 青野翔)

< 124 回生 >

124回生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年は、新たに社会に出て働き始め、日々精進している人、大学や大学院などで学生生活を頑張っている人など色々な場所でそれぞれの道を歩むこととなります。

同学年の皆さんの全国各地での活躍と健闘を期待するとともに、私自身もそれを糧にして頑張っていきたいと思っています。今回、その一人の吉川円香さんが同窓会の本部と東京清陵会の同窓会報の対談に協力されたと聞きました。是非そちらもお読みください！

それでは、それぞれがいろんな話を持ち合って盛り上がるのが出来る日を楽しみに、充実した日々をお送りください！

(124回生学年幹事 山岸昇玄)



株式会社 共進

業務用システム導入から運用まで、安心フルサポート
DX化のご相談も承ります。



ソフトウェア開発 / システムコンサルティング

アルティメイトプロジェクト株式会社

代表取締役会長 松崎 洋 (66回生)
代表取締役社長 中村 仁紀

本 社 〒392-0021長野県諏訪市上川2-2173-5
TEL0266-52-9458 FAX0266-52-9601
東京センター 〒100-0006東京都千代田区有楽町1-1-2
ワークスティング東京ミッドタウン日比谷
TEL03-5418-7658



HPIはこちら

2024 年度
諏訪清陵高等学校同窓会 会 務 報 告

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

- 4.4 諏訪清陵高等学校 130 回生入学式
中村博会長祝辞
新入生 240 名 (女子 99 名)
新入生に「校歌」CD を贈る
諏訪清陵附属中学校 11 期生入学式
新入生 80 名 (女子 38 名)
- 4.20 上伊那支部総会 たつのパークホテル (加島範久支部長)
下諏訪支部総会 ぎん月 (山田孝實支部長)
- 4.26 会計監査
中村博会長、小松重一監事、樋口尚宏監事
- 5.25 幹事会 (清陵会館)
総会議案打ち合わせ
- 5.27 清陵同窓会報 50 号発行
編集担当 91 回生
- 6.22 清陵同窓会総会 すわっチャオ
中村博会長退任、今井竜五会長就任
伝統と New Normal ハイブリッド型にて開催 (91 回生)
- 6.28 第 74 回清陵祭
同窓会室展示 92 回生
- 8.3 東海支部総会 ホテルメルパルク名古屋 (今井安榮支部長)
- 9.14 91 回生～92 回生引継ぎ会 (すわっチャオ)
- 10.5 東京支部総会 東京教育会館 (両角寛文支部長)
- 10.26 松本支部総会 モンターニュホテル (堀川精一支部長)
- 11.1 諏訪支部総会 ホテル紅や (石城正志支部長)
- 11.2 原支部総会 自然文化園 (藤原光郎支部長)
- 11.9 物故者慰霊法要 (地藏寺)
附属中 10 周年記念式典
- 11.28 北信支部総会 ホテル信濃路 (守屋正造支部長)
- 2025 年
- 2.9 茅野支部総会 ロイヤル会館 (田村義明支部長)
- 2.15 幹事会 (清陵会館)
- 2.23 富士見支部総会 JA 会館ふじみ (五味公守支部長)
- 2.27 岡谷支部総会 メモリー (宮坂好史支部長)
- 3.4 諏訪清陵高等学校 (128 回生) 卒業式
今井竜五会長祝辞
卒業生 224 名 (女子 96 名) 印鑑セットを贈る
- 3.16 関西支部総会 ホテルプラザオーサカ (藤森廣幸支部長)
- 3.19 諏訪清陵附属中学校 (9 期生) 卒業式
卒業生 80 名 (女子 50 名)
卒業証書入れを贈る

2025 年度
諏訪清陵高等学校同窓会 事業計画書(案)

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

- 1、母校創立 130 周年記念事業
記念式典、祝賀事業、教育環境設備の充実、同窓会館の改修、DX 化の推進 ほか
- 2、同窓会定例事業
[会員交流事業]
(1) 2025 年度定期総会開催 6 月 21 日 (土) ホテル紅や
(2) 幹事会開催 5 月 17 日・2 月
(3) 清陵同窓会報発行 第 51 号 編集担当 92 回生
(4) 各支部活動促進
(5) 先輩・物故会員慰霊法要 11 月 8 日 (土) 地藏寺
(6) 女性部活動支援
(7) ホームページの充実
[母校教育助成事業]
(1) 母校クラブ活動・自反会助成
クラブ活動・自反会同窓会後援会拡充
会費納入活動強化
母校クラブ後援会会計・自反会会計へ拠出
(2) 母校連携交流事業
定期交流会開催
清陵祭同窓会室設置
(3) 卒業生 記念品贈呈
高校生 印鑑
中学生 卒業証書入れ

◇◇計画の変更もあります。ホームページ等をご確認ください◇◇



LINEで処方せん受付できます

自己血糖測定器取扱店

岩波湖畔薬局

諏訪市高島 2-1201-44
TEL 54-1873
平日 8:30～夜 21:00
土 8:30～夕方 18:00

諏訪湖
日赤病院
中門川
ラコ華乃井
●レイクサイドホテル

諏訪湖ホワイトモール1F
岩波湖畔薬局

内科・消化器内科・循環器内科

医療法人 古村医院

院長 古村慎二(92回生)

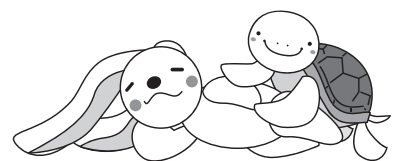
辰野町辰野1788番地 (0266)41-0013

やわらぎ接骨院

あんま・指圧

マッサージ

各種保険取扱



院長 菅沼 清 (92 回生)

下諏訪町西四王 4726-23 TEL: 0266-28-2970

2024 年度同窓会一般会計決算書

2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日

収 入 総 額12,892,895 円

支 出 総 額12,877,248 円

次年度繰越額15,647 円

I 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 現 額			決算額	増 減	備 考
	当初予算額	補正予算額	計			
前年度繰越金	2,043,244	0	2,043,244	2,043,244	0	2023 年度より繰越
入会金	2,400,000	0	2,400,000	2,120,000	△ 280,000	新入生 212 名
終身会費	4,800,000	0	4,800,000	4,240,000	△ 560,000	新入生 212 名
クラブ活動・自反会後援会	4,000,000	0	4,000,000	4,213,137	213,137	
受取利息	0	0	0	766	766	
物品販売	10,000	0	10,000	0	△ 10,000	
雑収入	5,000	0	5,000	275,748	270,748	懇親会会費等
収入合計	13,258,244	0	13,258,244	12,892,895	△ 365,349	

II 支出の部

科 目	予 算 現 額			決算額	不用額	備 考
	当初予算額	流用増減	計			
自反会（土曜講座）助成	640,000	0	640,000	640,000	0	
クラブ活動助成（高校）	2,538,000	30,000	2,568,000	2,568,000	0	
クラブ活動助成（中学）	300,000	0	300,000	300,000	0	
母校連携交流事業	300,000	0	300,000	294,596	5,404	資料作成
学校運営補助	300,000	214,692	514,692	514,692	0	海外語学研修（附属中）
SSH 学校運営補助	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	学校要望により新設（5 年間の初年度）
その他助成	200,000	31,450	231,450	231,450	0	卒業記念品
定期総会費	550,000	△ 80,346	469,654	469,654	0	運営費、広告代
支部活動奨励金	600,000	185,270	785,270	785,270	0	支部活動助成金 12 支部
女性部活動助成	300,000	0	300,000	300,000	0	女性部活動補助
その他事業	30,000	0	30,000	10,000	20,000	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	1,800,000	293,243	2,093,243	2,093,243	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	0	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設備更新
周年記念事業	300,000	△ 300,000	0	0	0	
ホームページ充実	100,000	0	100,000	100,000	0	
給料手当	900,000	0	900,000	900,000	0	事務局給与
会議費	100,000	0	100,000	92,066	7,934	幹事会他会議
旅費	850,000	△ 60,610	789,390	789,390	0	役員旅費・事務局長交通費
事務所費	1,000,000	38,887	1,038,887	1,038,887	0	消耗品、通信、備品、慶弔、業務委託等
基本財産繰入	1,000,000	△ 300,000	700,000	700,000	0	
予備費	1,400,244	△ 1,052,586	347,658	0	347,658	
支出合計	13,258,244	0	13,258,244	12,877,248	380,996	

2024 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 基本財産及び特別会計 決算報告

基本財産目録

(2025 年 3 月 31 日現在)

(内訳)

定期預金 諏訪信用金庫 38,029,000 円

同 八十二銀行 18,212,085 円

※ 合 計 ※ 56,241,085 円

会館維持 特別会計

(2025 年 3 月 31 日現在)

繰越金 1,469,292 円

繰入金（一般会計より） 50,000 円

利 息 637 円

支出額 468,270 円

差引残高（2025 年度へ繰越） 1,051,659 円

遺志金 特別会計（笠原文武様）

(2025 年 3 月 31 日現在)

前期残高 364,718 円

利 息 163 円

ブラッシング指導料 36,080 円

差引残高（2025 年度へ繰越） 328,801 円

同窓会報 特別会計

(2025 年 3 月 31 日現在)

繰越金 1,394,645 円

繰入金（一般会計より） 2,113,243 円

利 息 400 円

広告収入 740,000 円

支出額（印刷費・発送費） 3,477,967 円

差引残高（2025 年度へ繰越） 770,321 円

2025 年度一般会計予算書（案）

清陵高校クラブ活動後援会 会計報告

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

(同窓会・PTA・学友会から助成)

収入総額12,230,647 円

支出総額12,230,647 円

収支差引額0 円

I 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	2024年予算	増 減	備 考
前年度繰越金	15,647	2,043,244	△ 2,027,597	2024 年度決算額見込
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生 240 名
終身会費	4,800,000	4,800,000	0	新入生 240 名
基本財産繰入金	1,000,000	0	1,000,000	SSH 学校運営補助
クラブ活動・自反会後援会	4,000,000	4,000,000	0	
受取利息	0	0	0	
物品販売	10,000	10,000	0	
雑収入	5,000	5,000	0	
収入合計	12,230,647	13,258,244	△ 1,027,597	

II 支出の部

科 目	予算額	前年度予算	増 減	備 考
自反会（土曜講座）助成	640,000	640,000	0	高校
クラブ活動助成(高校)	2,500,000	2,538,000	△ 38,000	
クラブ活動助成(中学)	300,000	300,000	0	
母校連携交流事業	300,000	300,000	0	
学校運営補助	500,000	300,000	200,000	運営費
SSH 学校運営補助	1,000,000	0	1,000,000	5 年間継続の 2 年目
その他助成	200,000	200,000	0	卒業記念品、学校案内
定期総会費	550,000	550,000	0	運営費、資料費、広告代
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部総会祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	女性部活動補助
その他事業	30,000	30,000	0	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	
周年記念事業	0	300,000	△ 300,000	
ホームページ充実	100,000	100,000	0	
給料手当	900,000	900,000	0	事務局給与
会議費	100,000	100,000	0	常任幹事会・幹事会
旅費	850,000	850,000	0	役員会等旅費・交通費
事務所費	900,000	1,000,000	△ 100,000	消耗品、通信、備品、慶弔、業務委託等
基本財産繰入	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	610,647	1,400,244	△ 789,597	
次年度繰越金		0	0	
支出合計	13,230,647	13,258,244	△ 27,597	

平成9年度に同窓会・PTA・学友会により結成された「清陵高校クラブ後援会」も発足以来26年を経過しました。同窓会からは会員各位のご理解を得るなか、この間、約7,265万円のご援助をいただいてまいりました。

令和6年度は、インターハイや全国高等学校総合文化祭（総文祭）などが、通常どおり開催され、地区大会から全国大会に至るまで、生徒が「清陵」の名を背負って参加し、多くの活躍の知らせがありました。運動部は、陸上部、端艇部、スケート部などで全国大会出場を果たしたほか、文化部では、化学部、天文気象部、かるた部、古典ギター部、クイズ研究部などが全国クラスの大会に出場しています。

このほか、北信越大会には、端艇部、男女テニス部、陸上部、水泳部が出場するなど、幅広い分野で活躍し、クラブ活動を通して、充実した高校生活を送ることができました。

これらは同窓会会員の皆様をはじめとする後援会の皆様のおかげであると、生徒及び関係者一同、心より深く感謝しているところです。

クラブ活動は学校生活において、生徒たちにとって大きなウェイトを占める活動です。来年度においても生徒たちが一生懸命クラブ活動に励むことができるよう学校としても一層努力してまいりますので、引き続き絶大なる支援を賜りますようお願い申し上げます。

(学校事務長)

令和6年度クラブ活動後援会 会計決算

収入総額12,753,081 円

支出総額12,287,466 円

差引残高465,615 円

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	収入済額	差引増減
繰 入 金	7,822,000	8,422,000	600,000
同 窓 会	2,538,000	2,538,000	0
P T A	4,188,000	4,788,000	600,000
学 友 会	1,096,000	1,096,000	0
県 等 補 助 金	151,200	2,455,491	2,304,291
雑 収 入	25	18,815	18,790
繰 越 金	1,856,775	1,856,775	0
合 計	9,830,000	12,753,081	3,523,081

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	支出済額	差引増減
生徒遠征費	6,600,000	9,454,574	△ 2,854,574
大会参加費	950,000	1,186,694	△ 236,694
分担金	600,000	60,660	539,340
施設使用料	1,500,000	1,569,016	△ 69,016
事務費	70,000	16,522	53,478
備品購入費	100,000	0	100,000
予 備 費	10,000	0	10,000
合 計	9,830,000	12,287,466	△ 2,457,466

最先端技術にはロマンがある

理想を追求した **ノイズカットトランス**[®]

ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。



GOOD DESIGN AWARD

電波障害防止
の対策製品
表彰品

NCT-Z 型



高度情報化社会のアキレス腱＝不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす

株式会社 **電研精機研究所**

創業者(工博) 矢ヶ崎昭彦(47回)

本 社：〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21 TEL 042-473-3745(代) FAX 042-474-0613

大阪営業所：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 TEL 06-6538-1118(代) FAX 06-6538-2777

ノイズトラブル相談室 ノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を承ります。 URL www.denkenseiki.co.jp

クラブ後援会会員芳名 (敬称略)

以下の名簿は、令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日に、会費をお振込み頂いた方々です。
ご協力ありがとうございました。

42 回生	小林由喜夫	藤森 健司	松浦 元喜	小林 金好	74 回生	今井 竜五	78 回生	清水 直樹	小松 貴弘
黒河内三郎	五味 公夫	御子柴義照	降幡 賢一	柴 正徳	岩本 敏男	小池 剛	青木 裕子	斎藤 泰史	斎藤 泰史
44 回生	竹淵 修二	矢島 衛	松崎 洋	田村 義明	植松 孝彦	小林 吉生	中島 剛	高山 美歩	高山 美歩
伊藤 善光	田中 得一	63 回生	三澤 勲	平山 哲三	大滝 精一	小松 一俊	原田 正明	野沢美佐喜	野沢美佐喜
小口 斌	鈴木由美子	牛山 省吾	宮坂 勝之	藤森 廣幸	金井 良一	坂本 忠信	樋代 章平	山本 瑞己	山本 瑞己
片倉 久夫	永田 賢行	小澤 容	67 回生	小尾 悦子	北原 嘉泰	東城 清秀	宮阪 剛	96 回生	96 回生
48 回生	林 秀剛	高木 鐵也	宇佐美貴久	藤森 行雄	五味 克成	79 回生	市瀬 章	87 回生	上原 俊樹
永由 利弘	原田 真弓	鶴巻 健彦	高橋 尚	安木 良博	高木 健治	伊藤 幾文	石田 晋也	矢崎 裕夫	下島 和弥
49 回生	平林 佳治	中村 好邦	守矢 早苗	71 回生	三井 常夫	河西 一彦	88 回生	赤坂 伸彦	田中 雄一
小松 敏	藤森 保夫	長谷川文規	山本 巖	小沢 順時	柳澤 孝男	春日 克彦	90 回生	浅野 勝	内田京布子
藤森 昌美	矢崎 晴信	浜 弘毅	吉江 幸次	窪田 昭男	75 回生	高木 保夫	寺澤 茂	竹村 純	八幡 順子
50 回生	吉田 嵩	平澤 豊満	吉澤 修平	小林 精治	河西 英治	宮崎 誠	村上 芳秋	今井 薫	伊東巳代治
溝口 裕一	59 回生	藤森 宏一	68 回生	磯野 康子	北沢 守一	80 回生	矢嶋 浩行	大野 美江	川崎 剛
51 回生	伊藤 忠三	牧 成治	赤羽 貞幸	渋谷 利明	名取 和一	工藤 千秋	89 回生	98 回生	向山 尚樹
太田 信男	今井 潔	蜜澤 裕二	伊藤 智光	清水 優一	藤原 光郎	小林 幸春	99 回生	鈴木 歩	鈴木 歩
小林 俊介	林 芳江	両角 實	牛山 和義	竹内 一	宮坂 好史	小口 澄江	102 回生	笠原 稔大	笠原 稔大
小松 袈伴	五味 隆	亙理美代子	大森 尚人	濱 研一	矢島 隆	宮崎 誠	103 回生	飯田 亮	飯田 亮
進藤 八郎	齋藤 昌男	横山 嘉一	後町 泰昭	増澤 博和	柳平千代一	81 回生	小澤 弘	滝澤 寛子	小口 文隆
竹村 青堂	鮎沢 茂登	米山 勉男	小林 史宜	松澤 祥司	76 回生	朝倉 義信	須田 裕子	石井 和夫	大滝 啓吉
林 将雄	林 正幸	64 回生	秋山 利夫	山崎 保範	朝倉 義信	須田 裕子	石井 和夫	大滝 啓吉	大村 富範
三輪 祐司	藤森 忠治	岩田正三郎	武井 正文	山田 盛久	須田 裕子	石井 和夫	大滝 啓吉	大村 富範	片山 清
矢島 孝	松下 勲	武井 省吾	寺島 義典	横内 保美	須田 裕子	石井 和夫	大滝 啓吉	大村 富範	金子 次男
52 回生	山田 和彦	小口 壽夫	花岡 粧好	吉池 正	72 回生	新井 滋平	有賀 邦男	白鳥 洋治	植松 高志
両角庄二郎	60 回生	垣内 直	花岡 祐吉	原田 盛夫	藤森 照信	69 回生	青沼 水門	伊藤 博	岩波 寿亮
56 回生	赤羽 英勝	片野 通	小飼 隆文	小松 史俊	小川 由英	武井 直人	仁科 眞爾	花岡 忠史	早川 武彦
河西 啓二	小川 浩史	小口 一老	宮澤 典明	小林 和磨	小松 寛之	進藤 聖士	高木 祥勝	永田 郷雄	宮澤 政文
友吉 瑛子	小口 寛	宮澤 典明	小林 和磨	小松 寛之	進藤 聖士	高木 祥勝	永田 郷雄	宮澤 政文	守屋 政平
小池 寛	小平 貞	小林 定喜	下平 勝幸	土橋 平治	土橋平太郎	中村 宏	原 隆昭	平塚 一實	望月 均
守矢 哲	渡部 清	57 回生	荻野 浩	五味 乙	篠原 康夫	鳥川 裕雄	武居 伸一	花岡 睦男	樋口 祐三
水野 一也	宮澤 功吉	渡邊 道隆	58 回生	伊藤 長城	笠原 忠夫	木下 博介	小林 常晃	永由 俊二	小平 正八
62 回生	永由 俊二	小林 常晃	永由 俊二	小林 常晃	永由 俊二	小林 常晃	永由 俊二	小林 常晃	永由 俊二

計 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(2025年3月31日までにご連絡をいただいた方々)

回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日
34	藤森 三治	2010/12/3	52	小林 弥六	2024/8/9	59	土屋 宣修	2024/11/24	67	立石 義久	2024/11/27
39	武井 優	2015/9/28	52	中島 邦男	2023/12/12	59	名取 孝三	2024/10/1	67	岩間大和子	2024/10/1
42	中根 伸夫	2023/9/9	52	野明 汎	2023/11/1	59	向山 喜一	2024/1/	68	掛川 武雄	2024/10/24
43	矢島 幸雄	2019/6/19	52	濱 篤	2024/12/4	60	窪田 作栄	2023/1/	68	木村 信夫	2023/3/17
44	岩本 安利	2024/11/15	52	米澤 時雄	2024/9/17	60	佐藤 武朗	2023/5/27	68	林 伸司	2025/3/20
44	片倉 久夫	2023/12/18	55	小林 誠三	2024/10/8	60	林 豊	2024/5/28	68	宮坂 満雄	2024/10/
46	伊藤 正男	2009/10/19	56	鮎沢美英雄	2024/5/31	60	原 俊安	2024/4/5	68	丸茂 英夫	2022/6/2
46	矢花 慎雄	2021/3/13	56	植松 一男	2024/11/25	60	丸茂 敬昌	2024/3/20	69	伊藤 孝三	2025/2/13
47	小林 正樹	2022/11/18	56	片野 満	2022/9/27	61	今井 善水	2025/2/12	69	上田 典胤	2024/6/27
47	茅野 茂治	2023/9/20	56	北原 良郷	2024/7/17	61	上田 進康	2024/9/	69	高木義一郎	2024/6/21
47	樋口 秀雄	2023/10/13	56	倉田 巻男	2024/8/9	61	小林 正次	2024/6/20	69	丸茂 千郷	2024/1/2
48	酒井 雅義	不明	56	五味 剛	2023/6/30	61	坂本 勇喜	2024/6/8	70	伊藤 良弘	2024/8/27
48	山村 泰彦	2022/12/18	56	関 泰	2024/3/25	61	中島 志郎	2023/3/3	70	小林 和男	2024/12/16
49	小林 積	2025/1/9	56	堤 信彦	2024/2/27	61	守屋誠太郎	2024/6/20	70	高岸 洋夫	2024/5/19
49	小松 敏	2023/11/30	56	平澤 芳登	2025/2/15	62	有賀 得二	2024/7/4	70	宮坂 正博	2025/1/25
49	中村登紀夫	2024/6/22	56	藤森 秋雄	2025/2/10	62	小口 喜照	2024/4/	71	小野 哲良	2024/5/22
49	三澤善治郎	2024/3/13	56	古屋 利治	2016/11/18	62	高坂 邦彦	2022/11/22	71	小林 紀雄	2025/3/3
49	宮坂 安雄	2022/7/	56	望月 均	2025/3/6	62	永坂 勝	2025/3/13	72	井上 一夫	2024/
49	矢崎 正一	2023/6/16	56	松澤 英介	2024/7/21	62	中島 澄雄	2024/6/4	72	久保田晴久	2024/12/26
50	跡部 雅俊	2021/6/8	56	矢崎 武徳	2020/12/21	62	平林 哲夫	2021/12/18	72	矢沢 憲郎	1989/10/8
50	石神 公一	不明	57	小口 文也	2023/11/22	63	小池 照美	2024/2/	73	本田 稔	2024/8/13
50	伊藤 順藏	不明	57	大和 一昭	2024/12/6	65	大輪 烈	2024/12/1	74	石浦 武弘	不明
50	小口 良吉	2014/1/27	57	小林 正春	不明	65	笠原 正好	2024/10/27	74	草間 勝男	2024/10/18
50	溝口 裕一	2024/4/1	57	竹田 守男	2024/2/27	65	春日 芳夫	2024/9/	76	熊澤 信彦	2025/1/11
51	伊藤 幸平	2025/2/25	57	茅野 嘉利	2024/6/30	65	金子 充宏	2024/5/20	76	樋口 節夫	2024/4/21
51	町田 恭二	2024/5/4	57	久保田三重	2024/9/10	65	黒河内聡夫	2024/6/1	76	松岡 敏行	2023/
51	小松 利一	2025/1/15	57	花岡 英明	2024/1/24	65	林 利孝	2024/6/2	76	矢沢 秀明	1993/3/18
51	千野 泰照	2024/8/17	57	花岡 忠	2022/12/31	65	宮坂 孝康	2024/7/24	77	矢田美保子	2024/6/20
51	橋渡 勇	2024/5/16	57	宮坂 豊夫	2023/10/29	65	両角 正博	2024/3/15	78	中谷 宏	2024/5/15
51	平島 佐一	2024/11/9	57	谷戸 進	2023/10/	65	矢島 満	2024/8/3	78	山田 高光	2025/2/16
51	本間 弘次	2021/	58	岩崎 吉清	2024/6/5	66	伊東 正光	2024/6/18	80	小松 文雄	2024/6/1
52	牛山 積	2024/8/7	58	永田 賢行	2024/9/6	66	新藤 豊國	2020/8/2	83	林 正博	2021/11/28
52	金子 信也	2023/10/26	58	早川 恭昭	2024/8/18	66	久保田高正	2024/6/18	84	清水 俊典	不明
52	北原 幹雄	2025/1/17	59	小坂 辰徳	2024/5/19	67	北沢 一達	2024/4/3	87	矢島 崇裕	2024/7/10
52	久保 章	2023/10/10	59	白倉 徹哉	2024/2/9	67	河西 龍夫	2024/1/3	98	坂井 良成	2024/5/27

◎昨年の会報(50号)計報欄に誤りがありましたので、訂正させて載きます。98回生 小口理恵様が生存されておりますので、ご報告とお詫びを申し上げます。

事 務 局 だ よ り

◎旧制諏訪中学校・清陵高等学校創立130周年及び附属中学校創立10周年記念事業実行委員会(以下、周年事業実行委員会と略称)が、発足しました。2024年7月29日に初回の委員会を開催できました。中村博前会長には、コロナ禍の最中も含め、周年事業実行委員会の組織づくり・発足に向けて確かな指針をもってご尽力をいただきました。今井竜五新会長の元、学校・PTA・同窓会が一体となって、母校のたため記念事業を推進いたします。

◎茅野支部のご尽力で、新訂版『寒水伊藤長七伝』と新装版『あまのついでとりて〜人間中島喜久平と諏訪の育英』を昨春上梓できました。その販売促進にあたって、田村義明茅野支部長さんが12支部全部を行脚くださいました。茅野支部の情熱と行動力に深甚なる敬意を表します。

◎母校書道部へ何回にもわたり、書道書籍、硯、紙類をご惠贈いた

だいた74回生の武藤一博様から「清陵の後輩が書に興味を持ち、生涯にわたって心豊かな人生を過ごすきっかけに」とお言葉を添えていただきました。書道部生徒、顧問に代わりお礼申し上げます。

◎当番幹事学年の92回生(笠原健一代表)が、素晴らしいフットワークで着々と準備を進めていただいております。そのシステム構築力、突破力がまぶしく頼もしい限りです。6月の総会のテーマである『“清陵”という心の熾火』が楽しみです。本年度も、同窓生各位一層のお力添えをお願い申し上げます。

◎事務局

TEL/FAX: 0266-58-0356

E-mail: dousoukai@suwaseiryu.jp

ホームページ: <https://www.suwaseiryu.jp/>

事務局は、月・木(9:00-13:00)原則勤務

事務局 長: 高木保夫(79回) 携帯電話: 090-4152-1871

事務局 補佐: 矢澤 博(69回) 携帯電話: 090-3312-1469

編 集 後 記

年初に、42回生の故・中根伸夫氏のご遺族から「清陵高校の沿革と現況 昭和26年8月11日 総会」(同窓会発行: QRコード参照)を寄贈いただきました。そこには、校舎新築にあたり同窓会が寄付を集めるために委員会を設置した旨も書かれています。支部毎の目標額は東京100万円、諏訪50万円、その他50万円。私たち92回生が入学した当時の「ボロボロ校舎」には、既に同窓会活動の恩恵が詰まっていたことも初めて知り、感慨深くなりました。

今年は清陵創立130周年。先輩方が中心となり周年事業実行委員会を立ち上げて、学生や同窓生に役立つ事を協議したり、2,500万円の寄付を募っておられます。当番学年として各支部総会に顔を出させていただきましたが、そこでも先輩方が支部運営を担われていました。楽しい一時を過ごすうちに「そうか、55才とは会報作って、総会終えたらお役御免になる年ではなく、これからも



同窓会活動を楽しみながら母校に恩返しを続ける始まりだったのか」と気づいてきました。

92回生は、数えて7年ぶりの「紅や」での懇親会とともに、総会・企画のオンライン配信にも挑戦します。配信は、異動された山岸明前校長先生の「【清陵同窓会の強み】に、学生が気軽に触れる機会を!」というご依頼を受けたものです。今回が令和8年6月27日(土)、93回生当番による「紅や」での130周年記念同窓会総会の役割に立てれば幸いです。

最後に会報発行に際し、企画、寄稿や広告にてご協力を賜りました皆様、ご尽力頂いたヤジマプリント様、92回生に深謝申し上げます。なお、今後、新規に会報へ広告を掲載して下さる方は、毎年10月末迄に上記事務局までご連絡お願いいたします。

(92回生会報編集チーム 古村慎二、平林希美代、守矢健一、中村進、林直樹、岩波寛、藤原泰史、笠原健一、藤森伝太、山田修、降幡亜紀、寺島憲一郎、武井淳子)